

令和元年度実績並びに
令和2年度中間実績

当別町教育委員会 点検・評価報告書

令和2年11月
当別町教育委員会

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（第26条）の規定に基づき、令和元年度の教育委員会の権限に属する事務の管理と執行の状況について、学識経験者の知見を活用して点検及び評価を行うとともに、併せて令和2年度の教育委員会の権限に属する事務の管理と執行の状況の中間実績について、点検及び評価を行い、作成・公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目次

| | | |
|-----|------------------------------|-----|
| 第1章 | 点検及び評価の概要 | 1頁 |
| 第2章 | 教育委員会の活動状況 | |
| 1 | 教育委員会会議の開催状況 | 2頁 |
| 2 | 教育委員会会議以外の主な活動状況 | 11頁 |
| 第3章 | 当別町教育推進計画重点的取組の点検及び評価 | |
| 1 | 重点的取組 | 13頁 |
| 2 | 令和元年度の点検及び評価 | |
| (1) | 学校教育分野 | 14頁 |
| (2) | 社会教育分野 | 21頁 |
| (3) | 子育て・幼児教育分野 | 28頁 |
| 3 | 令和2年度の点検及び評価 | |
| (1) | 学校教育分野 | 34頁 |
| (2) | 社会教育分野 | 39頁 |
| (3) | 子育て・幼児教育分野 | 42頁 |
| 4 | 資料 | 45頁 |
| 第4章 | 外部評価 | |
| 1 | 学校教育分野について | 60頁 |
| 2 | 社会教育分野について | 65頁 |
| 3 | 子育て・幼児教育分野について | 67頁 |
| 《 | 資料編 | 》 |
| 1 | 教育委員会委員名簿 | 69頁 |
| 2 | 令和元年度当別町教育推進計画 | 70頁 |
| 3 | 令和2年度当別町教育推進計画 | 71頁 |
| 4 | 令和元年度教育関係予算・決算並びに令和2年度教育関係予算 | 72頁 |

第1章 点検及び評価の概要

1 点検及び評価の対象

教育委員会の事業は年度単位で執行されているため、教育委員会の点検及び評価は次年度に入ってから行うこととしています。

本年度の点検及び評価は、「令和元年度当別町教育推進計画」及び「令和2年度当別町教育推進計画」の重点的取組に位置付けされた施策を点検項目として選定しました。

2 点検及び評価の内容

教育委員会会議の開催状況、審議案件など教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、当別町教育予算の概要の重点施策に位置付けされた施策・事業等の点検及び評価については、個別に取組状況を点検し、成果と課題を踏まえ今後の方向性を明らかにしています。

また、教育委員会の活動状況や施策・事業等の点検及び評価の客観性を確保するとともに、今後の取組に反映させるため、教育に関し学識経験を有する方から点検及び評価に関する意見や助言をいただきました。

3 点検及び評価の公表

点検及び評価の結果をまとめた報告書を当別町議会に提出するとともに、町民に広く公表します。

第2章 教育委員会の活動状況

1 教育委員会会議の開催状況

教育委員会の会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律及び当別町教育委員会会議規則に基づき、教育長と4人の教育委員が主要な教育施策の策定、変更及び実施に関する事、教育委員会規則等の制定、教育に関する様々な課題について審議しています。

それぞれの会議においては、事務局から付議案件の提案説明や報告事項等について説明が行われた後、教育長と教育委員による慎重な審議を経て、決定、了解、承認されてきたところです。

さらに、会議以外においては、現場の状況を把握したうえでの審議が行われるよう、学校や教育関係施設の視察、各種行事への参加を行っております。

今日の教育を取り巻く課題は、複雑・多様化しており、今後においても諸課題等に対応した施策の推進に向けて、引き続き十分な審議を行い、地域教育の更なる充実のため、町民の積極的な参画と協働の下、多様で質の高い教育行政を積極的に推進していく必要があります。

(1) 会議の開催状況

教育委員会会議については、当別町教育委員会会議規則第4条第1項の規定に基づき毎月定例会を開催し、また、同条第2項の規定に基づき必要に応じて臨時会を開催しています。

令和元年度については、下記のとおり合計14回の会議が開催されたところです。

- ① 定例会 12回（毎月）
- ② 臨時会 2回（3月）

令和2年度9月末日までについては、定例会が6回開催されています。

なお、会議以外に事務局との学習会も随時実施しています。

(2) 会議の審議案件

教育委員会会議での審議事項については、当別町教育委員会事務委任規則第1条の規定に基づき審議しています。

また、同規則に規定されていない事務局報告事項についても、質疑応答を行っています。

令和元年度については、下記のとおり審議及び報告が行われたところです。

- ① 当別町教育委員会事務委任規則第1条に基づく審議事項
 - ・議決案件 36件 ・協議案件 31件 ・報告案件 37件
- ② 事務局報告事項 81件
- ③ 付議案件一覧

| 日 程 | 付 議 案 件 |
|----------|---|
| H31.4.24 | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町保育所設置条例施行規則を廃止する規則制定について ・当別町保育所主食費徴収規則を廃止する規則制定について ・当別町障がい児保育事業実施規則の一部を改正する規則制定について ・当別町延長保育事業実施規則の一部を改正する規則制定について ・当別町一時預かり事業実施規則の一部を改正する規則制定について ・当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について ・広域入所実施要綱の一部を改正する訓令制定について ・臨時代理の報告について (当別町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則制定について) ・臨時代理の報告について (教育委員会事務局職員の人事異動について) ・臨時代理の報告について (当別町学校給食センター運営委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町社会教育委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町教育支援委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の解職について) <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町義務教育学校開校準備委員会設置要綱の制定について ・当別町義務教育学校教育課程編成委員会設置要綱の制定について ・当別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・当別町社会教育委員会委員の委嘱について ・当別町教育支援委員会委員の委嘱について ・当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について ・第1地区教科用図書採択教育委員会協議会委員の選任について |

| 日 程 | 付 議 案 件 |
|---------|---|
| R1.5.22 | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度当別町一般会計（教育費関連）繰越明許費繰越計算書について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町義務教育学校開校準備委員会委員の委嘱について ・当別町義務教育学校教育課程編成委員会委員の委嘱について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町子ども・子育て会議委員の解職について ・当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について ・当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について ・令和元年度6月補正予算について |
| R1.6.26 | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・令和元年度6月補正予算について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の解職について ・当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について |
| R1.7.17 | <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町社会教育施設設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町総合体育館設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町コミュニティーセンター設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別小学校水泳プール管理及び運営に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・小中学生のスポーツ大会参加事業助成要綱の一部を改正する訓令制定について ・平成31年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への当別町の結果掲載について |
| R1.8.29 | <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書並びに令和2年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p> |

| 日 程 | 付 議 案 件 |
|---------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・当別町子どもプレイハウス条例の一部を改正する条例制定について ・当別町コミュニティーセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について ・当別町社会教育施設設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町文化財施設等の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町総合体育館設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町子ども発達支援センター条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町ファミリー・サポート・システム事業実施要綱の一部を改正する訓令制定について ・当別町学習交流センター管理運営要綱の一部を改正する訓令制定について ・当別町要保護児童対策地域協議会委員の解職について ・当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について ・令和元年度9月補正予算について |
| R1.9.30 | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会教育長の任命について ・当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町子どもプレイハウス条例の一部を改正する条例制定について ・当別町コミュニティーセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について ・当別町社会教育施設設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町文化財施設等の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町総合体育館設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町子ども発達支援センター条例施行規則の一部を改正する規則制定について ・当別町ファミリー・サポート・システム事業実施要綱の一部を改正する訓令制定について ・当別町学習交流センター管理運営要綱の一部を改正する訓令制定について ・令和元年度9月補正予算について <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p> |

| 日 程 | 付 議 案 件 |
|----------|---|
| | <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町立学校運営協議会の運営等に関する規則の一部を改正する規則制定について ・当別町立当別小学校・当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について ・平成31年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」に掲載する当別町の結果報告について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について ・当別町保育に関する条例並びに子ども・子育て支援法及び児童福祉法施行細則の一部を改正する規則制定について ・当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について |
| R1.10.16 | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度全国学力・学習状況調査報告書の作成について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について |
| R1.11.27 | <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について ・2019年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への当別町の結果掲載について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町教育大綱について ・令和元年度12月補正予算について <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一体型義務教育学校名の決定方法について（追加議案） |
| R1.12.18 | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (教職員の解職発令内申について) ・教育委員会委員の任命について ・令和元年度12月補正予算について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について ・当別町文化財調査審議会委員の委嘱について |
| R2.1.15 | <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度教育委員会表彰の被表彰者の選考及び決定について |
| R2.2.19 | <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2019年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」に掲載する当別町の結果について ・2019年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書の作成について <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p> |

| 日 程 | 付 議 案 件 |
|-------------------------|--|
| | <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町図書館条例の制定について ・当別町一体型義務教育学校名の選定について ・第2期当別町子ども・子育て支援事業計画について ・令和元年度3月補正予算について ・令和2年度教育行政執行方針について ・令和2年度当初予算について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町一体型義務教育学校名の決定について (追加議案) |
| <p>R2.3.2 (臨時会)</p> | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町立学校の一斉臨時休業について |
| <p>R2.3.5 (臨時会)</p> | <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の人事異動内申について |
| <p>R2.3.25</p> | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町図書館条例制定について ・令和元年度3月補正予算について ・令和2年度当初予算について <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町立学校管理規則の一部を改正する規則制定について ・当別町教職員住宅管理規則の一部を改正する規則制定について ・当別町立学校運営協議会の運営等に関する規則の一部を改正する規則制定について ・当別町図書館条例施行規則制定について ・当別町学習交流センター管理運営要綱の一部を改正する訓令制定について ・当別町教育基本計画について <p>(協議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について ・当別町保育士等就労支援給付金交付規則制定について |

令和2年度9月末日までについては、下記のとおり審議及び報告が行われたところでは、

- ① 当別町教育委員会事務委任規則第1条に基づく審議事項
 - ・議決案件 14件 ・協議案件 10件 ・報告案件 39件
- ② 事務局報告事項 43件
- ③ 付議案件一覧

| 日 程 | 付 議 案 件 |
|---------|--|
| R2.4.22 | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について ・当別町保育士等就労支援給付金交付規則制定について ・臨時代理の報告について (当別町教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則制定について) ・臨時代理の報告について (当別町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の廃止について) ・臨時代理の報告について (当別町私立幼稚園特別支援教育費補助金交付要綱の一部改正について) ・臨時代理の報告について (教育委員会事務局職員の人事異動について) ・臨時代理の報告について (当別町教育支援委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町学校給食センター運営委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町社会教育委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町社会教育委員会委員の委嘱について) <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当別町立学校修学旅行実施基準の一部を改正する訓令の制定について ・第1地区教科用図書採択教育委員会協議会委員の選任について ・当別町スポーツ推進委員会委員の委嘱について ・当別町教育支援委員会委員の委嘱について ・当別町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p> |

| 日 程 | 付 議 案 件 |
|---------|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・当別町いじめ問題調査委員会委員の委嘱について ・当別町立当別小学校・当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について ・当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について |
| R2.5.21 | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (当別町社会教育委員会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町社会教育委員会委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町要保護児童対策地域協議会委員の委嘱について) ・認定こども園「おとぎのくに」における公私連携協定検証報告について (議 案) ・当別町要保護及び準要保護児童生徒就学援助規則の一部を改正する規則制定について (協議案) ・当別町立学校設置条例の一部を改正する条例制定について ・当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・令和2年度6月補正について |
| R2.6.24 | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の解職について) ・臨時代理の報告について (当別町子ども・子育て会議委員の委嘱について) ・臨時代理の報告について (令和2年度6月補正予算について) ・当別町立学校設置条例の一部を改正する条例制定について <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p> |

| 日 程 | 付 議 案 件 |
|---------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・当別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について ・令和2年度6月補正予算について (議 案) ・当別町立学校児童生徒通学区域に関する規則の一部を改正する規則制定について ・当別町教職員住宅管理規則の一部を改正する規則制定について ・教育財産（下川町教職員住宅）の用途の廃止について (協議案) ・当別町子育て世帯応援商品券支給事業実施規則制定について |
| R2.7.15 | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨時代理の報告について （当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の解職について） ・臨時代理の報告について （当別町立西当別小学校・西当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について） ・当別町一体型義務教育学校建設工事（建築主体）請負契約について ・当別町一体型義務教育学校建設工事（電気設備）請負契約について ・当別町一体型義務教育学校建設工事（機械設備）請負契約について ・当別町子育て世帯応援商品券支給事業実施規則設定について |
| R2.8.26 | <p>(議 案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に使用する小学校用及び中学校用教科用図書並びに令和3年度使用教科用図書のうち学校教育法附則第9条に規定する教科用図書の採択について (協議案) ・令和2年度9月補正予算について |
| R2.9.23 | <p>(報 告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会委員の任命について ・当別町教育系ネットワークシステム構築業務委託請負契約について ・当別町教育系ネットワークシステム端末購入契約について ・令和2年度9月補正予算について (議 案) ・当別町立当別小学校・当別中学校区域学校運営協議会委員の委嘱について (協議案) ・当別町教育・保育施設補助金交付規則の一部を改正する規則制定について ・当別町保育従事者等臨時慰労金給付規則制定について ・当別町図書館に関する陳情書について |

2 教育委員会会議以外の主な活動状況

令和元年度の活動状況については、下記のとおりです。

| | | |
|------------|---------------|----------------------------------|
| ①会議等 | 4月 18日 | 北海道町村教育委員会連合会役員会 |
| | 23日 | 石狩管内教育委員会協議会総会及び各部会 (※) |
| | 5月 14日 | 北海道町村教育委員会連合会総会 |
| | 7月 10日 | 北海道市町村教育委員研修会運営協議会 (※) |
| | 10月 7日 | 令和元年度市町村教育委員会研究協議会 |
| | 1月 22日 | 令和元年度第1回当別町総合教育会議 |
| | 2月 6日 | 北海道町村教育委員会連合会役員会 |
| ②研修等 | 5月 17日 | 当別町校長・教頭合同研修会 |
| | 12月 12日 | |
| | 1月 23日 | |
| | 7月 11日 | 北海道市町村教育委員研修会 |
| | 9月 14日 | ほっかいどう学力向上推進事業「子どもの学力・生活習慣改善研修会」 |
| | 10月 25日 | 石狩管内教育委員会委員研修会 |
| | 11月 7日 | 教育委員研修会 |
| ③行事 | 4月 6日 | 当別町立小学校及び中学校入学式 |
| | 8日 | 当別夢の国幼稚園入学式 おとぎのくに入園式 |
| | 9日 | 当別高等学校入学式 (※) |
| | 5月 25日 | 当別町立中学校体育祭 |
| | 6月 1日 | 西当別小学校運動会 |
| | 8日 | 当別小学校スポーツフェスティバル |
| | 29日 | おとぎのくに運動会 |
| | 30日 | 当別夢の国幼稚園運動会 |
| | 7月 4日 | 南北海道医学校農業クラブ連盟意見発表大会 (※) |
| | 20日 | 当別高等学校祭 |
| | 26日 | 当別町キッズ運動会 |
| | 9月 28日 | 当別中学校学校祭 |
| | 10月 5日 | 西当別中学校学校祭 |
| | 19日 | 当別夢の国幼稚園文化祭 (※) |
| | 11月 2日 | 当別町文化協会創立50周年記念式典 西当別小学校学芸発表会 |
| | 9日 | おとぎのくに文化祭 |
| | 16日 | 当別小学校学習発表会 |
| | 12月 17日 | 当別高等学校保育コース卒業制作発表 |
| | 1月 12日 | 当別町成人式 |
| | 2月 2日 | 当別町少年意見の発表会 |
| 22日 | 当別町教育委員会表彰式 | |
| ④当別町議会 (※) | (※) は教育長のみが出席 | |

| | | |
|---------------|--|------------------------------|
| ⑤教育委員会 勉強会 | 5月 22日 | 義務教育学校基本設計業務委託について |
| | 6月 5日 | 義務教育学校教育課程編成委員会及び開校準備委員会について |
| | 9月 30日 | 義務教育学校実施設計スケジュールについて |
| | 10月 16日 | 教育大綱について |
| | 12月 18日 | 当別町子ども・子育て支援事業計画について |
| | | 当別町教育推進計画について |
| | | 義務教育学校の校名決定について |
| | 1月 15日 | 全国体力・運動能力調査について |
| | | 教育委員会全体スケジュールについて |
| | | 義務教育学校校名募集（途中経過）について |
| 2月 19日 | 義務教育学校経営基本構想について | |
| | 当別町教育基本計画について | |
| | 当別町幼保小接続プログラムについて | |
| 3月 25日 | 今後の小・中学校再開に向けての対応等について 「当別町図書館」に関する要望及び陳情書の提出について | |

令和2年度9月末までの活動状況については、下記のとおりです。

| | | |
|---------------|--------|--------------------------------------|
| ①会議等 | 4月 23日 | 石狩管内教育委員会協議会総会及び各部会（※） |
| ②研修等 | 6月 23日 | 当別町校長会・教頭会合同研修会（※） |
| ③教育委員会 研修会 | 6月 24日 | 「当別町図書館」に関する陳情書の取り扱いについて |
| | 8月 26日 | 「当別町図書館」に関する陳情書に対する回答について 成人式について |
| | 9月 23日 | GIGA スクールについて |

第3章 当別町教育推進計画重点的取組の点検及び評価

1 重点的取組

(1) 令和元年度

| 分野 | 重点的取組 | 頁 |
|-------------|---|----|
| 学校教育分野 | ① 確かな学力の育成（知） ② 豊かな心の育成（徳） ③ 健やかな体の育成（体） | 14 |
| 社会教育分野 | ① 多彩な生涯学習プログラムの展開 ② 読書活動の推進 ③ 学校を核とした地域力強化プラン事業による児童生徒、学校支援 ④ 家庭教育支援 | 21 |
| 子ども・子育て支援分野 | ① 家庭と一体となった子育て支援 ② 幼児教育・保育の充実 ③ 早期療育の推進 ④ 児童虐待の防止 | 28 |

(2) 令和2年度

| 分野 | 重点的取組 | 頁 |
|-------------|---|----|
| 学校教育分野 | ① 確かな学力の育成（知） ② 豊かな心の育成（徳） ③ 健やかな体の育成（体） | 34 |
| 社会教育分野 | ① 多彩な生涯学習プログラムの展開 ② 三課横断「児童生徒、学校及び家庭支援」 ③ 読書活動の推進 | 39 |
| 子ども・子育て支援分野 | ① 子育て支援の充実と幼児教育・保育の充実 ② 社会全体で子どもを守る体制の構築 | 42 |

3 令和元年度の点検及び評価

| 点検項目 | 確かな学力の育成（知） | |
|-------------|--|---|
| 元年度 達成目標 | <p>【達成指標】 全国学力・学習状況調査や各検査結果全国平均以上</p> <p>○全国学力・学習状況調査や各種学力調査において、平均正答率が全国平均を上回る。</p> <p>○教科系統表の活用による効果的な授業や、主体的・対話的で深い学びの実践を通じて、小中一貫した教科指導を充実させる。</p> <p>○新学習指導要領実施に向け、小学校外国語、プログラミング教育を中心に、9か年の連続性の視点を踏まえた教育課程の編成を行う。</p> <p>○全国学力学習状況調査、児童・生徒質問紙の「家庭学習」「読書時間」に関する項目において、「2時間以上」と回答する児童生徒の割合を全国平均以上にする。</p> | |
| 取組の 概要 | <p>(1) 9年を通した教育課程の編成と実施</p> <p>(2) 9年を通した学習規律の確立</p> <p>(3) 特別な支援を必要とする子どもに対する支援</p> <p>(4) 一貫教育推進講師と外国語指導助手（ALT）の継続配置</p> <p>(5) 小学校の授業改善を目的とした北海道教育委員会指定事業（当別小学校・西当別小学校共同指定）の成果波及</p> <p>(6) 社会教育課と子ども未来課との連携による学習支援や読書活動の推進</p> | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて相当な進展があった | 達成した |
| 自己評価 | <p>【進捗状況】</p> <p>(1) 小学校・中学校が一つの学校とし教育課程を実施できるよう指導・支援をした。小学生の中学校での授業や部活動、合同行事など予定通りに進められた。</p> | <p>【成果】</p> <p>(1)-1 学校教育指導員（現学校教育指導主事）による学校教育指導 定期の訪問が各校年5回、この他に各校の求めに応じた訪問が数回、これらを合わせ、各校年10回以上の訪問指導を行っている。この中で「主体的・対話的で深い学び」の観点から、「9年間を見通した授業改善の推進」について、教務および研修担当を中心に指導してきた。学校ではそれらをもとに小中学校が連携協働し、教育課程を編成することができた。</p> <p>(1)-2 特別委員会による検討 義務教育学校教育課程編成委員会、開校準備委員会を組織し、「どうべつ未来学」を中心とした教育課程編成や部活動・行事の在り方についても検討を進めることができた。</p> |

| | 中間評価 | 最終評価 |
|--|---|---|
| | <p>(2) 一貫教育3年目を迎え、授業や生活における約束事など、小中共通した学習規律が定着しつつある。</p> <p>(3) 長期休業中に実施する教職員研修会では昨年に引き続き、特別支援教育についての講座を開催し、教職員の理解を深めた。各2名の特別支援教育支援員による特別支援教育の充実を引き続き支援する。</p> <p>(4) 一貫教育推進講師（算数・数学・外国語）を各校に配置し、小・中学校間の接続を意識した教育を推進した。主にT・Tによる授業を行った。その他、ALT3名、外国語専科教員2名も併せて配置し、支援を行うなど、9年間を見通した外国語教育の推進を図った。</p> <p>(5) 2年目となる道指定事業「授業改善推進チーム」において「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業研究を行い、活動通信「紡」により各学校へその</p> | <p>(2) 授業改善推進チーム活用事業を活用し、ピクトグラム（絵文字や絵単語）を活用した授業の工夫改善や、話し合い活動を中心とした学習規律の確立を図ることができた。</p> <p>(3) 町費で各学校2名の特別支援教育支援員を配置し、通常学級における「困り感」を持つ児童生徒を中心に、学習手順の指導や活動の補助等に当たった。これにより児童生徒が安心・落ち着いた中で学習活動を行うことができ、全体的な学力の底上げにつながった。</p> <p>また、教職員研修会実施後の参加者アンケートでは、「事例交流の時間などを設けた非常に実践的な内容だった。」といった満足度の高い意見が多かった。（よかった、ややよかった合計94%）</p> <p>各校からは、参加者が研修内容を還流し、実践に生かしているとの報告を受けている。</p> <p>(4) 外国語教育では10月に中学生を対象に実施した英検I B Aにおいて英検3級相当以上の中学3年生が、文科省が目標とする50%を大きく超え、63.1%と非常に高い割合となった。</p> <p>また、西当別地区の算数・数学担当講師は、5・6年生の理科も担当し、中学校を見据えた科学的思考を養う指導を行っている。それにより導入後4年で、西当別中学校の標準学力検査理科の偏差値が3ポイント以上上昇した。</p> <p>(5) 活動内容をまとめた通信「紡」を用い、「見通しを持たせる工夫」や「考えを深める対話活動」など、当該校の先生の実践を紹介し、授業改善を行っている。小学校は</p> |

| | 中間評価 | 最終評価 |
|--------|--|--|
| | <p>成果を伝えている。</p> <p>(6) 社会教育課と連携し、学校の求めに応じた講師派遣、司書派遣、放課後学習会や土曜学習会、当別町インターナショナルクラブなど、児童生徒の家庭学習支援を予定通り実施した。</p> <p>子ども未来課との連携では、放課後プレイハウスにおいて、自主的な学習や運動を促した。</p> | <p>もちろん、中学校でも通信を回覧し、ノウハウを取り入れるなど、成果の波及が見られる。</p> <p>(6) 社会教育課と連携し、水泳やスキーなど学校の求めに応じた講師派遣、司書派遣、放課後学習会や土曜学習会、当別町インターナショナルクラブなど、児童生徒の家庭学習支援を予定通り実施した。子ども未来課との連携では、放課後プレイハウスにおいて、自主的な学習や運動を促すなど、放課後の居場所づくりにつながっている。</p> <p>これらの取組により、家庭学習の習慣化が図られた。</p> <p>(小6生毎日2時間以上 R1 : 14.0% → R2 : 22.0%)</p> |
| 今後の方向性 | | <p>「継続して進める」</p> <p>令和元年度は、全国学力・学習状況調査や各検査結果において、小中学校ともに全国平均以上を達成するといった大きな成果を挙げる事ができた。今後も高い学力を支える各種の施策を積極的に進めていくため、予算の確保や適切な人の配置に努める。</p> |
| 担当係 | 学校教育係、一貫教育係 | |

| 点検項目 | 豊かな心の育成（徳） | |
|-------------|---|---|
| 元年度 達成目標 | <p>【達成指標】小中合同の多彩な取り組み、いじめゼロ</p> <p>○全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」の問いに「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答する児童生徒の割合を100%にする。</p> <p>○全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙「人が困っているときは、進んで助けていますか」の問いに「当てはまる」と回答する児童生徒の割合を全国平均以上にする。</p> | |
| 取組の 概要 | <p>小中合同による</p> <p>(1) 考え議論する道德の実現に向けた授業改善</p> <p>(2) 発達段階を踏まえた生徒指導</p> <p>(3) 不登校児童生徒の情報共有と指導</p> <p>(4) 芸術鑑賞やボランティア活動</p> | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった | 達成に向けて進展があった |
| 自己評価 | <p>【進捗状況】</p> <p>(1) 小中合同による道德を両地区で実施した。それぞれの理解が深まり、自己肯定感も高めることができた。今後も継続する。外部講師の選定や教材など支援をする。</p> <p>(2) 「特別の教科 道德」を中心とし、9年間の教育課程全体を通して、児童生徒の人間性・社会性を育み、「心」を育てる教育を継続する。そのため、学校教育指導員による授業参観や指導・助言を引き続き行っていく。</p> | <p>【成果】</p> <p>(1) (2) 小中合同による道德「いじめ撲滅集会」を両地区で実施した。（8月：人権擁護委員会、当別ライオンズクラブ共催）</p> <p>あわせて「いじめ防止標語」作成に取り組み、児童生徒がいじめについて主体的に考えることができた。</p> <p>西当別中学校では、校内研究教科を道德に設定し、「考え議論する道德」の授業構築を行った。検証のための研究授業・協議には町内各校の教員が参加し、成果を還流することができた。</p> <p><児童生徒質問紙回答結果></p> <p>①「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思うか」</p> <p>小学生 86%（全国 85%）</p> <p>中学生 78.8%（全国 78.3%）</p> <p>②「人が困っているときは、進んで助けていますか」</p> <p>小学生 44.2%（全国 40.4%）</p> <p>中学生 30.1%（全国 34.6%）</p> |

| | 中間評価 | 最終評価 |
|--------|---|--|
| | <p>(3) 前期は、不登校児童生徒の安否確認を学校と共に行った。今後も学校の求めに応じて支援をしていく。</p> <p>(4) 中学校区ごとに小中合同の芸術鑑賞教室を実施した。今年度はどちらも演劇鑑賞を行った。劇団員による、この職をめざしたきっかけや仕事にかける意識等の職業観を聞く時間を設ける等、キャリア教育の観点からも効果的な事業となった。</p> | <p>(3) 不登校児童生徒の安否確認については、年間を通して学校、子ども未来課と連携し、定期的・継続的な対応を行うことができた。その結果、改善が図られ、登校再開や高校進学につながった児童生徒がいたが、十分な改善が見られない場合においても適応指導教室（レインボー）への道筋をつけるなど、支援を行ってきた。</p> <p>(4) CSや町内会と連携を図り、町内清掃活動や地域防災訓練を実施することで、児童生徒のボランティア意識を高めるきっかけを作ることができた。</p> |
| 今後の方向性 | | <p>「継続して進める」</p> <p>令和元年度は、「いじめ撲滅集会」の内容の充実や、「特別の教科道徳」の授業改善、「芸術鑑賞会」の継続的な実施など成果のある事業が多かったが、不登校対策においては学校のみならず、他機関との連携を深め、解決に向け継続的な取り組みが重要であると考えている。</p> |
| 担当係 | 学校教育係、一貫教育係 | |

| 点検項目 | | 健やかな体の育成（体） | |
|-------------|--|-------------|---|
| 元年度 達成目標 | <p>【達成指標】全国体力・運動能力、運動習慣等調査全種目全国平均以上</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査「体力・運動能力（実技）調査」において、全種目で全国平均を上回る。</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査児童生徒質問紙「運動は好きですか」の問いに「好き」と回答する児童生徒の割合を全国平均以上にする。</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣等調査児童生徒質問紙「1日にどのくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面をしていますか」の問いに「3時間以上」と回答する児童生徒の割合を全国平均以下にする。</p> | | |
| 取組の 概要 | <p>(1) 北海道医療大学や日本体育大学との連携による指導者研修や児童生徒指導の実施</p> <p>(2) フッ化物洗口の実施要領の改善</p> <p>(3) 当別町食生活改善協議会や北海道当別高等学校との連携による食育の実施</p> <p>(4) 学校運営協議会（CS）による保護者・地域との連携による児童生徒の生活習慣改善</p> | | |
| | 中間評価 | | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった | | 達成に向けて進展があった |
| 自己評価 | <p>【進捗状況】</p> <p>(1) 北海道医療大学や日本体育大学との連携を検討している。（例えば、教職員研修会の講師等）</p> <p>(2) 小学校1年生から中学校3年生までのフッ化物洗口が定着してきた。希釈液作成の変更など学校歯科医と連携してより効果的な指導を続けていきたい。</p> <p>(3)-1 当別町食生活改善協議会の協力のもと、各小学校1・3年生の食育授業を行う。 当別小学校 1年生～調整中 3年生～12月予定</p> | | <p>【成果】</p> <p>(1) 北海道医療大学の竹生礼子教授を講師に「がん教育」の特別授業を実施することができた。また当別中剣道部が日本体育大学に出向き、専門的な指導を受けることができた。この他に、教職員冬季研修においてエスプラーダ北海道のフィジカルコーチによる体育授業の実技指導を行った。36名全員が「よかった」と回答する非常に満足度の高いものとなった。</p> <p>(2) フッ化物洗口をよりスムーズに実施するために、学校歯科医による希釈液作成を薬局に委託し各校に配送したことで、結果的に学校歯科医の負担軽減にもつながった。</p> <p>(3)-1 当別町食生活改善協議会の協力のもと、1年生「正しい箸の持ち方を学ぼう」、3年生「食べ物の3つの働き」では、エプロンシアターでの食育授業を行うことができた。</p> |

| | 中間評価 | 最終評価 |
|--------|--|--|
| | <p>西当別小学校 1年生～8月30日 3年生～11月11日</p> <p>(3)-2 給食に町内農家から提供された地元野菜を使用することで、児童生徒の地場産物への理解を深めることができた。</p> <p>(3)-3 当別高校家政科生徒の研修を受け入れる準備を進める。</p> <p>(4) 生活習慣改善に向けた取組を進めるよう、CSに対し指導・助言を行った。その結果、PTA連合会研究大会・母親研修会並びに「子どもの学力・生活習慣改善研修会」(ほっかいどう学力向上推進事業)において、「家庭で取り組む生活習慣の改善」をテーマに講演及び取組の報告を実施した。保護者、教職員等115名参加した。</p> | <p>当別小学校 1年生～9月30日 3年生～12月12日 西当別小学校 1年生～8月30日 3年生～11月11日</p> <p>(3)-2 毎月の献立表に記載することにより、児童生徒が地場産物に興味関心を持ち、理解を深めることができた。</p> <p>(3)-3 当別高校家政科生徒の研修については、今年度は行われなかった。</p> <p>(4) 今年度の大きな成果として、研究大会開催のほか、CSが中心となり、家庭への啓発活動を行うことができた。長期休業直前の啓発プリントの発行や生活実態アンケートを基にした「生活習慣改善リーフレット」の作成を行うことができた。リーフレットの配布及び活用については、次年度に行うこととした。</p> <p><全国体力・運動能力調査結果 全8種目> 小学生(男子)全種目 全国平均以下 小学生(女子)全種目 全国平均以上 中学生(男子)4種目 全国平均以上 中学生(女子)4種目 全国平均以上</p> |
| 今後の方向性 | | <p>「継続して進める」</p> <p>当別高校、北海道医療大学との連携など、地域・社会との関わりについては、引き続き双方向の関係を強めていきたい。CS活動については、引き続き支援し、自主的活動につなげていく。</p> |
| 担当係 | 学校教育係、一貫教育係、給食センター | |

| 点検項目 | 多彩な生涯学習プログラムの展開 | |
|-------------|---|---|
| 元年度 達成目標 | プログラム及び参加者数前年比10%増 | |
| 取組の 概要 | (1) 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学との新たな学習プログラムの実施 (2) 「当別町歴史・文化プロジェクト」による古文書解析の上級者養成、伊達邸別館などの歴史文化財産の改修や資料整理 (3) 「ことぶき大学」など高齢者の生きがいがづくりを目的とした多世代交流事業 (4) 「ふれスポ withAMB」との連携による生涯学習の推進 | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった | 達成に向けて相当な進展があった |
| 自己評価 | <p>【進捗状況】</p> <p>(1) 北海道医療大学と共催で「北海道医療大学連携講座」を3回開催し、57名の参加を得た。医療大学の専門性を活かしたプログラムができた。</p> <p>北海道医療大学連携講座及び当別高校との連携を引き続き実施し、日本体育大学と連携した新たな学習プログラムは今後の検討となる。</p> <p>(2) 昨年に引き続き、吾妻家古文書の研究をテーマに「当別町歴史学習講座」を開講している。参加者の当別町の歴史に対する興味関心と古文書解析力の向上に結び付くものと期待している。講座は後期に上級者向け講座を開設予定である。</p> <p>(3) 「ことぶき大学」では、参加者ニーズに沿った講座を開催しており、近隣市町村見学等では、出席率77%と高く、学習意欲を高めることができた。前期参加者延べ389名、出席率平均61%を更に高める。</p> | <p>【成果】</p> <p>(1) 「北海道医療大学連携講座」を後期3回、年間で6回開催し135名の参加を得た。別紙プログラムのとおり医療大学の専門性を活かした生涯学習の機会を提供できた。</p> <p>【資料1-①】</p> <p>「TOWNミーティング」では、当別高校や医療大学と連携し、小中学生とともに当別町150年記念行事の企画を行った。“ふるさと当別”を意識する機会として来年につながる新たな学習プログラムを実施できた。</p> <p>(2) 歴史学習講座の開催は3年目となる。後期には「上級編」を新規開設し、登録者数は合計38名で前年比60%増加した。その内、継続参加の20名は古文書解析力の向上が顕著で、指導者養成につながった。</p> <p>【資料1-②】</p> <p>伊達邸別館は、外壁塗装や内部改修を行い、貴重な町指定文化財を適切に保護することができた。今後、計画的に進める。</p> <p>(3) 「ことぶき大学」では、様々な団体(認定こども園、中学校、高校)と連携を取りながら交流を実施し、生きがいがづくりに寄与できた。アンケートでは満足度も高く、参加者は前年比13%増であり、質の高い事業を展開できた。</p> <p>【資料1-③】</p> |

| | 中間評価 | 最終評価 |
|--------|--|---|
| | <p>(4) ふれスポ withAMBとの連携で、町民の生涯スポーツの推進のためのスポーツフェスティバル、とうべつさわやか駅伝等、各事業を計画どおり実施できている。今後、予定されている事業を確実に実施しながら、参加者増に努める。</p> | <p>(4) ふれスポ withAMBとの連携で、各スポーツ教室の開催など、町民の生涯スポーツの推進のための事業を実施できた。スポーツ教室の参加者は前年比18%増と、内容の充実とともに継続した広報活動の効果が表れている。</p> <p>【資料2】</p> <p>【課題】</p> <p>(1) 講座によっては参加人数が少ない事業もあり、周知の工夫とともに、住民ニーズに応えたプログラム内容とするよう検討が必要である。</p> <p>(2) 当別町150年を契機とした歴史に対する興味関心の高まりが感じられるが、高齢者が中心となっているため、幅広い年齢層が町の歴史に触れられる機会の検討が必要である。</p> <p>(3) 60代の参加者及び、男性の参加者が少ないことが課題である。さらなる参加啓発に取り組む。</p> <p>(4) 2月以降は新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止及び体育施設の臨時休館を余儀なくされた。感染症対策は今後も継続した課題である。</p> |
| 今後の方向性 | | <p>「継続して進める」</p> <p>各関係機関との連携を深め、各機関の特色を活かした新たなプログラムづくりを行い、生涯学習の推進を図る。事業開催については、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めた中での判断となるが、感染症対策の工夫をしながら事業を展開する。</p> |
| 担当係 | 生涯学習係、文化財保護係 | |

| 点検項目 | | 読書活動の推進 | |
|-------------|--|---|-----------------|
| 元年度 達成目標 | 児童・生徒一人当たりの図書貸し出し冊数 10%増 | | |
| 取組の 概要 | (1) ブックスタートやブックセカンド、読み聞かせなどの保護者啓発事業 (2) 巡回図書事業の拡充 (3) 学習交流センターと西当別コミュニティーセンター両図書室での新たなシーズンイベントの開催 (4) 学校への図書司書派遣事業の拡充 | | |
| | 中間評価 | | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった。 | | 達成に向けて相当な進展があった |
| 自己評価 | <p>【進捗状況】</p> <p>(1) 保護者の啓発については、各事業を通して行うことができた。保護者を通して子どもの読書についての関心を高めていきたい。</p> <p>(2) 巡回図書の回数を6回から8回にし、幼児、児童、生徒が本に触れる機会を増やした。中間まで4回実施。</p> <p>(3) 新規事業として「子どもの夏休み読書に関する本の展示」や「ふくろう図書館夏まつり」を開催した。幼児から高齢者まで72名の幅広い世代の参加を得た。今後、司書企画のイベントなど改善を図る。</p> <p>(4) 学校と連携し、町図書司書の学校訪問支援回数を月間2回から4回に増やすこととした。学校図書室の環境整備や読書指導を充実させていきたい。</p> | <p>【成果】</p> <p>(1) ブックスタート(10ヵ月健診時)では56名、ブックセカンド(小学1年)では74名に絵本を贈り、本に親しむ大切さを保護者に対して啓発することができた。子どもの読書量も増えるものと期待している。</p> <p>(2) 巡回図書の回数を増やしたことで、子ども達が本に触れる機会や貸出冊数が増加した。図書室のPRにもつながり、読書の啓発として効果があった。</p> <p>(3) 新規事業として左記のほか、「ぬいぐるみお泊り会クリスマス会」などを開催し、幅広い世代の読書推進と、図書室利用促進につながった。事業内容は図書司書の知識等を活かして企画することで、多くの方に親しまれるイベントとなった。</p> <p>【資料3】【資料4】</p> <p>(4) 図書司書の学校訪問支援回数を月間4回に増やしたことで、担当教諭の負担軽減と、より手厚い学校図書室の環境整備活動支援を行うことができた。</p> <p><児童・生徒一人当たりの図書貸し出し冊数：前年比 1.35%増></p> <p>【課題】</p> <p>(1) ブックスタートからブックセカンド</p> | |

| | 中間評価 | 最終評価 |
|--------|-------|--|
| | | <p>までをつなぐ期間の事業の検討が必要である。</p> <p>(2) 子ども達が本に興味、関心をもてるような選書の工夫が必要である。</p> <p>(3) 限られたスペースの中でのイベント内容の工夫が必要である。</p> <p>(4) 担当教諭との役割分担や、読書推進の考え方の擦り合わせを行い、より効果的な支援を進める。</p> |
| 今後の方向性 | | <p>「継続して進める」</p> <p>図書室から図書館への移行をきっかけに、利用しやすい図書館となるようレイアウトの改善、行ってみたくなるイベントの開催、見やすい「うちどく通信」の発行など利用促進に努め、利用者増、貸出冊数増につながる工夫をしながら継続的に進めていく。</p> |
| 担当係 | 生涯学習係 | |

| | | |
|-------------|--|--|
| 点検項目 | 学校を核とした地域力強化プラン事業による児童生徒、学校支援 | |
| 元年度 達成目標 | 講師派遣事業学校要望 100% 学習会の参加児童生徒数前年比 10%増 | |
| 取組の 概要 | (1) 各学校への講師派遣事業 (2) 外国語や部活動外部指導者などの講師発掘 (3) 放課後学習会や土曜学習会の拡充 | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成した | 達成した |
| 自己評価 | <p>【進捗状況】</p> <p>(1)(2) 各学校への講師派遣については、要望に応えることができた。後期も継続する。 また、通信での呼びかけや、ボランティア登録者から紹介等により新しい講師登録者の確保に努める。</p> <p>(3) 放課後学習会の参加者については、当別小学校が前年比 50%増など、全体としても増加傾向にある。引き続き、内容の充実に努める。</p> | <p>【成果】</p> <p>(1) 各学校からの要望に基づき、登録ボランティアの中から適した講師を 100%派遣できた。新たに小学校家庭科におけるミシン実習の支援が実現するなど、児童生徒の学習環境の充実を図ることができた。</p> <p>(2) 外国出身の登録ボランティアから新たに町の ALT が誕生するなどの成果があり、小学校児童の英語教育環境の向上に寄与することができた。</p> <p>(3) 放課後学習会は、小学校ではコロナ禍で実施回数が減少したが、当別小学校参加者前年比 53%増をはじめ、小学校全体としても前年比 13%増加し、学習会として定着してきている。中学校の参加者数も安定しており、学習習慣の定着や学力向上の一助となっている。中学生向けの土曜学習会は参加者数は少ないものの、参加生徒からは、学習会の成果や講師の指導を高く評価する声が寄せられ、充実した内容となった。</p> <p>【課題】</p> <p>(1) 125 名の登録ボランティアの 53%が稼働しているが、学校の支援要請に応えるために特定のボランティアが多数回の支援をこなさなければならない状況にある。ボランティアの高齢化に加えて、新たな人材の発掘が課題である。</p> |

| | 中間評価 | 最終評価 |
|--------|-------------------|--|
| | | <p>(2) 部活動外部指導者については、今後の情勢の変化や必要に応じた新たな人材発掘を推進する必要がある。</p> <p>(3) 土曜教室、イングリッシュ・プロジェクトは、参加者数が少ない傾向にある。習い事との兼ね合い、休日の過ごし方の多様化など要因は考えられるが、積極的な参加を促す内容設定が課題である。</p> |
| 今後の方向性 | | <p>【継続して進める】</p> <p>学校支援主体の活動から発展的な地域学校協働活動への移行の検討や、コミュニティー・スクールとの密接な連携などを推進し、より充実した児童生徒の学習活動の支援を進める。</p> |
| 担当係 | 生涯学習係、学校教育係、一貫教育係 | |

| 点検項目 | | 家庭教育支援 | |
|-------------|---|--------|---|
| 元年度 達成目標 | 交流事業への参加者数前年比 10%増 | | |
| 取組の 概要 | (1) 子ども未来課や福祉部との連携による子育て支援事業や多世代交流事業 (2) リトミック（音楽や体操）を取り入れた新たな子育て支援事業の実施 (3) 家庭教育ナビゲーターの養成と活用 | | |
| | 中間評価 | | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった | | 達成に向けて進展があった |
| 自己評価 | 【進捗状況】 (1) 子ども未来課との連携による新たな図書室のイベントの実施ができた。 今後も共同開催について検討をする。 (2) 新たな乳幼児期の子育て支援事業として「親子ふれあい遊び」を実施した。実施状況も踏まえ、内容の改善に努める。 (3) ものづくりを行いながら子育て相談を実施する「学びカフェ」を2回開催し、延べ8名のナビゲーターの活用ができた。 | | 【成果】 (1) 子ども未来課との連携によって「おもちゃフェスティバル」など子育て支援イベントを実施し、子育て中の保護者同士の交流や育児不安の解消を図ることができた。 (2) 新たな子育て支援事業として「親子ふれあい遊び」を年5回実施した。ベビーヨガなど親子が一緒に楽しめるものや、育児疲れのストレスを解消できる母親向けの絵本の読み聞かせなど親子がリフレッシュできる機会となった。 (3) 図書室でのイベントに合わせて「学びカフェ」を年3回開催し、制作活動をする中で保護者同士が子育ての悩みなどを話す機会を設け、交流と学び合いができるよう支援することができた。延べ10名のナビゲーターを活用した。 <交流事業への参加者数:前年比 53.1%増> 【課題】 (1) (2) (3) 保護者同士が気軽に交流できるような雰囲気づくりが必要だが、距離を保つなど新型コロナウイルス感染症対策との両立が課題である。 |
| 今後の 方向性 | | | 【継続して進める】 子ども未来課や福祉部との連携によって、親子が集うイベント等と合わせて親子で活動する取組みや保護者同士が交流する機会を創出し、育児不安を解消するなど、家庭教育支援の充実を継続して進める。 |
| 担当係 | | | 生涯学習係 |

| 点検項目 | 家庭と一体となった子育て支援 | |
|-------------|--|--|
| 元年度 達成目標 | <p>【達成指標】各事業の参加者数前年比10%増</p> <p>○子育て支援センター事業において、子育て中の親子同士及び高齢者や地域住民との繋がりを持つ。また、子育て関連部署や関係機関と連携した子育て支援を行う。</p> <p>○子育ての援助を必要とする保護者に対し、ファミリー・サポートセンター事業について周知し、ファミリー・サポート・システムの利用に繋げる。</p> <p>○学童保育について、落ち着いて学習できる環境づくりに努め、学習習慣の定着を図る。また、ふれスポが行う運動・スポーツ指導により、体力の向上を図る。</p> | |
| 取組の 概要 | <p>(1) 社会教育課や福祉部との連携による子育て支援</p> <p>(2) 地域で子育て支援ができる取組みの充実</p> <p>(3) 子どもプレイハウスでの学習やスポーツ活動の充実</p> | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった | 達成に向けて進展があった |
| 自己評価 | <p>【進捗状況】</p> <p>(1)-1 社会教育課やファミリー・サポートセンターの職員と連携し、キッズ運動会を開催や子育て講座などを開催し親子の交流を図るなどの目的を達成することができた。後期に向け、事業参加者数が対前年度同時期と比較し減少しているため、周知強化による参加者増を図る。</p> <p>(1)-2 子ども未来課が保健師と連携し、乳幼児健診等で子育てに不安や悩みなどを持つ親子を、子育て支援センターの利用に繋げるなど、連携した子育て支援を行うことができた。</p> <p>(2) ファミリー・サポートセンター協力会員の役割について、各種事業における協力会員の活動を通じて利用会員に理解を深めることができた。</p> <p>また、乳幼児健診での制度周知は、100%できた。利用実績についても前年度同時期より達成指標（10%増）以上増加しているため、継続して進める。</p> | <p>【成果】</p> <p>(1)-1 子育て支援センターにおいて、子育て講座50回（前期23回、後期27回）を開催し、親子の交流を深めることができた。関係機関の連携により認定こども園の幼児や子どもプレイハウスの児童、デイサービスセンター、ことぶき大学の利用者が参加した多世代交流の子育て支援ができた。参加者数については、ホームページやブログでの周知徹底の他、講座内容の見直しを行い参加者数の増を図ったが、新型コロナウイルス感染症対策で休所措置をとった影響から達成指標を下回る結果となった。</p> <p>【資料5】</p> <p>(1)-2 前期に引き続き、保健師と連携し、乳幼児健診等の相談のなかで2組の親子を子育て支援センターの利用に繋げ、他の親子との交流や担当職員と関わりを持つことにより育児不安を解消することができた。</p> <p>(2) ファミリー・サポートセンター事業の制度について、子育て支援事業、乳幼児健診の全ての参加者に協力会員から周知を行った。</p> <p>利用実績数：220件（前期105件、後期115件）</p> |

| | 中間評価 | 最終評価 |
|--------|--|--|
| | <p>(3) 登所後の自主的学習については、ほとんどの児童が取り組めるようになった。今後は、落ち着いて学習できるよう指導内容を充実させることによって、更なる学習習慣の定着を目指す。</p> | <p>(3) ほぼ全ての児童に学習習慣が定着し学習に取り組めるようになった。また、学習教材の活用や苦手教科の個別指導により学力向上に向けた取組ができた。</p> <p>スポーツ指導については、ふれスポとうべつによるスポーツ教室が年20回開催され、運動が苦手な児童に合わせたプログラムを取り入れるなど体力向上に向けた取組みできた。</p> <p>その他バス遠足や社会見学、お楽しみ会などの行事や活動内容を充実し、放課後等の子どもの居場所づくりに貢献した。</p> <p>また、コロナ禍においても事業を実施し社会機能の維持に大きく貢献した。</p> <p>【課題】</p> <p>(1) 育児に不安や困り感を持つ保護者など多くの親子が興味を持って利用できる講座の開催に向け一層の検討が必要。</p> |
| 今後の方向性 | | <p>「継続して進める」</p> <p>(1) 社会教育課や福祉部と連携し、多世代交流や地域住民との交流する場をつくり、地域全体で子育て支援を続けていく。</p> <p>(2) ファミリー・サポートセンター事業の必要性は年々高まっており、今後も事業の周知に努めサービスの利用につなげていく。</p> <p>(3) プレイハウス指導員が研修等に参加し技術の向上を図るとともに、学習やスポーツの提供、行事などの活動を充実させ児童の健全な育成と保護者が安心して利用できる環境づくりに努める。</p> |
| 担当係 | 子育てサポート係 | |

| 点検項目 | | |
|-------------|--|--|
| 幼児教育・保育の充実 | | |
| 元年度 達成目標 | <p>【達成指標】 幼児教育と義務教育の接続プログラム作成</p> <p>○全ての子どもが等しく幼児教育を受けられる機会を確保し、就学前の幼児教育を定着させるため、利用者の経済的負担の軽減を図る。</p> <p>○各認定こども園との連携によりスムーズな就学に繋がる仕組みづくりを構築し効果的な接続への取組みを進めるため、各在園5歳児の学校見学、授業体験等を実施し、児童に関する情報の提供等を密に行うとともに接続プログラムを策定する。</p> | |
| 取組の 概要 | <p>(1) 保育料無償化の取り組みの拡大</p> <p>(2) 各認定こども園との連携による幼児教育の推進及び就学に向けた幼保小間の接続プログラムの作成</p> | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった | 達成に向けて相当な進展があった |
| 自己評価 | <p>【進捗状況】</p> <p>(1) 令和元年10月より幼児教育無償化が実施されることに伴い、町内各認定こども園と円滑な制度実施に向け、認定こども園と15回に及ぶ協議を行った。</p> <p>また、認定こども園利用保護者に対する説明会を各認定こども園で年齢別に計4回行い、制度の周知を図った。</p> <p>(2) スムーズな就学につなげるため、各在園児5歳児の小学校見学や授業体験等を実施した。今後も個別の対応を行う。幼保小接続プログラムの素案を基に今年度中の完成を目指す。</p> | <p>【成果】</p> <p>(1) 令和元年10月より認定こども園を利用する3歳から5歳までの全ての子ども及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯の子どもの保育料の無償化について、スムーズに実施することができた。</p> <p>(2) 就学に向けて小学校教諭の認定こども園訪問や認定こども園5歳児の小学校訪問等により教職員及び在校児との交流を実施した。</p> <p>認定こども園から小学校へのスムーズな接続のため、連続性と一貫性をもった幼保小接続プログラムを策定した。</p> <p>【課題】</p> <p>(2) 幼保小接続プログラムの活用にあたり実効性について検証し、さらなる充実に向け検討協議していく必要がある。</p> |
| 今後の 方向性 | <p>「継続して進める」</p> <p>(1) 無償化となった保育料以外の実費負担の軽減に向けて認定こども園と協議を進める。</p> <p>(2) 幼保小接続プログラムの効果を検証し、より効果的なプログラムになるよう定期的に更新を行う。</p> | |
| 担当係 | 子ども係 | |

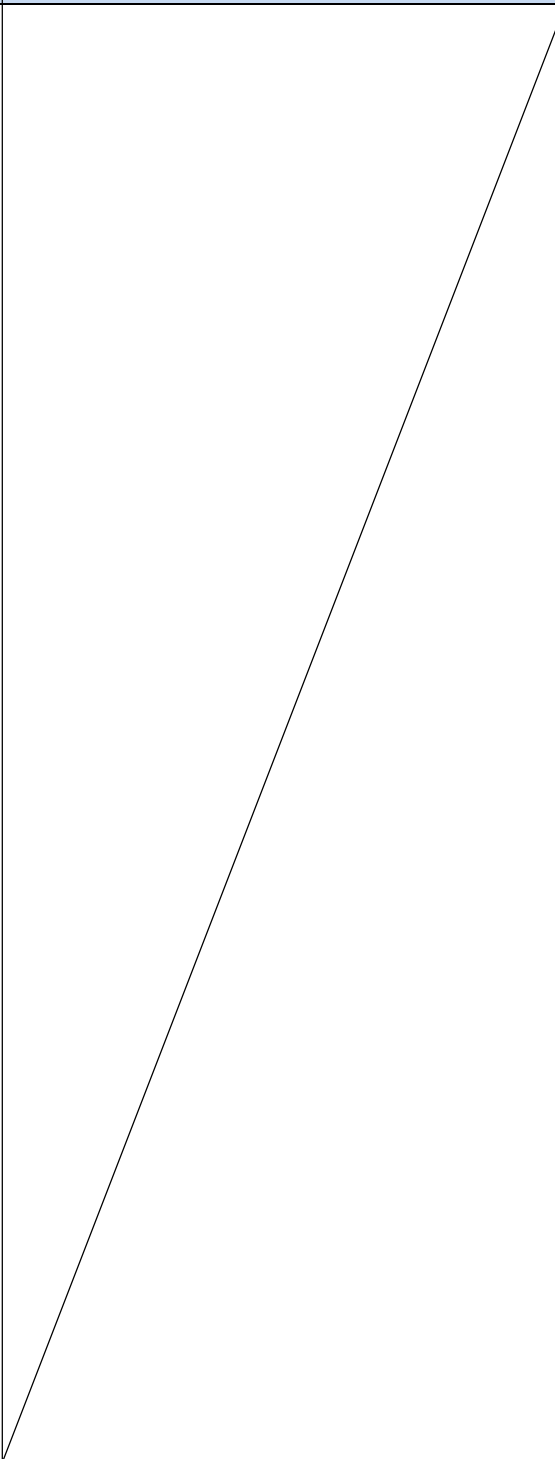
| 点検項目 | 早期療育の推進 | |
|-------------|--|------|
| 元年度 達成目標 | <p>【達成指標】 早期療育の支援の充実</p> <p>○子ども発達支援センター利用児童の保護者や関係機関を対象に、北海道立子ども総合医療・療育センター等の専門職員を招き、発達障がいやその支援等について学習会等を開催する。</p> <p>○乳幼児健診等に指導員が出向き、積極的に育児相談・発達相談の実施に努める。</p> <p>○指導員の各種研修等への参加及び専門機関による指導検証等を実施する。(北海道立子ども総合医療・療育センター年2回以上、社会福祉法人麦の子会所属発達心理士年6回以上ほか)</p> | |
| 取組の 概要 | <p>(1) 発達障がいへの理解・認識の促進及び支援の充実</p> <p>(2) 乳幼児健診等において育児相談及び発達相談を実施</p> <p>(3) 子ども発達支援センター全指導員の資質の向上</p> | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成した | 達成した |
| 自己評価 | <p>【進捗状況】</p> <p>(1) 保護者向け発達障がいについての学習会を1回開催し、9名が参加した。発達障がいについての理解を保護者を中心に深めることができた。今後も継続する。</p> <p>(2) 前期時点で、乳幼児健診に出向き、発達や育児についての心配事等について発達相談等を3回実施した。今後も積極的に育児相談・発達相談等の随時相談を実施する。</p> <p>(3)-1 指導員の指導力向上のため、前期5回19名参加の研修会に参加し、専門的な視点からの子どもの捉えや接し方等を学んだ。今後もより専門的な研修会に参加する。</p> <p>(3)-2 今年度、新たに作業療法士の有資格者を配置できた。</p> <p>【成果】</p> <p>(1) 専門家を招き保護者に対し、個別の発達の捉えや関りについてのアドバイスを行い発達障がいへの理解、認識を深めてもらうことができた。(学習会2回14名参加) また、関係機関向けに、発達アセスメント、発達検査、発達の診かたと支援について学習会を開催し、広く発達障がいへの理解や捉え方、支援についての認識を深めることができた。(発達心理士による専門支援事業学習会6回31名参加)</p> <p>(2) 乳幼児健診6回に出向き、発達に関する相談等を実施し、4件の発達相談があり、うち1件が発達支援センターへの通園へと繋がった。</p> <p>(3) 指導員の指導力向上のため、道主催の研修会及び専門機関による研修や指導検証等に参加した。研修内容について発達支援センター内で伝達講習を行い、指導員全員で共有し、新たに学んだ子どもの捉えや接し方等を指導に取り入れることで支援内容の充実に寄与した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道主催研修会 (北海道立子ども総合医療・療育センター受入研修2回2名参加)(北海道通園連絡協議会研修2回5名参加) ・専門機関研修会等 (相談支援専門員現任研修1回1名参加) (発達心理士による専門支援事業学習会6回25名参加) | |

| | 中間評価 | 最終評価 |
|--------|------|--|
| | | <p>【課題】</p> <p>(1) 未通園児の保護者に対しても、発達支援センターの役割や支援内容を理解してもらい、子育ての不安の軽減を図る必要がある。</p> <p>(3) 経験年数の浅い指導員については、指導力向上に向け、研修等に積極的に参加し、資質向上を図る必要がある。</p> |
| 今後の方向性 | | <p>「継続して進める」</p> <p>(1) 引き続き、関係機関や保護者、未通園児の保護者が参加しやすいよう、学習会等の実施時期・時間・内容等の調整を行い、発達障がいに対する理解・認識を広く深めてもらう取組を継続する・</p> <p>(2) 早期療育を行うことで、保護者や子どもの不安軽減や日常生活の安定を図ることができることから、今後も引き続き、乳幼児健診等に出向き、積極的に育児相談、発達相談を行う。</p> <p>(3) 引き続き、指導員の質の向上に向け、各種研修会に積極的に参加していく。 また、現在7名の職員で運営しているが、今後も安定した運営に努めていく。</p> |
| 担当係 | | 子ども係 |

| 点検項目 | | 児童虐待の防止 | |
|-------------|---|---------|---|
| 元年度 達成目標 | 【達成指標】 児童虐待事案ゼロ、一時保護事案ゼロ ○要保護児童対策調整機関として各関係機関との連携協力体制の強化を図る。 ○広報、ホームページ、子育てガイドブックなどで児童虐待防止に係る周知を図る。 | | |
| 取組の 概要 | (1) 児童相談所など各機関との連携強化 | | |
| | 中間評価 | | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった | | 達成した |
| 自己評価 | 【進捗状況】 (1) 福祉部や認定こども園、小中学校と情報を共有し、未然防止と早期発見に努めた。前期の児童虐待事案及び一時保護事案は0件である。引き続き関係部署、特に小学校や認定こども園との情報交換を密にし、連携協力を進める。 (2) 広報、ホームページ、ポスターの掲示、子育てガイドブックにより、児童虐待等の防止を周知した。今後も継続して周知に努め、児童虐待についての理解と防止に努める。 なお、11月の児童虐待防止月間中において講演会を計画している。 | | 【成果】 (1) 7件（前期3件、後期4件）の相談事案や要支援事案に対して、児童相談所や福祉部、小中学校、認定こども園と連携しながら対応した。 これらの事案を確認した結果、児童虐待及び一時保護につながるケースは無かった。 (2) 年間を通じて児童虐待防止の啓発を行うほか、子どもの虹情報研修センター長川崎 二三彦氏を講師に招き児童虐待防止講演会を開催し、児童虐待についての理解と防止に向けた地域全体の意識向上を図ることができた。 なお、講演会には、町民、民生児童委員、教育機関など72名の参加があった。 【課題】 (1) 虐待事案発生時に適切な対応ができるよう担当職員の対応技術の向上を図る必要がある。 |
| 今後の 方向性 | | | 【継続して進める】 (1) 引き続き、関係機関と連携し未然防止に努め、児童虐待事案についても適切に対応できるよう担当職員の資質向上に努める。 (2) 引き続き、広報、ホームページ等を活用し児童虐待についての理解を深める。 |
| 担当係 | | | 子育てサポート係 |

3 令和2年度の点検及び評価

| 点検項目 | | 確かな学力の育成（知） | |
|-------------|--|-------------|------|
| 2年度 達成目標 | 【達成指標】 ○全国学力・学習状況調査や各検査結果全国平均以上 | | |
| 取組の 概要 | 1 一貫した教育課程の編成及び小学校新学習指導要領の完全実施 2 小学校教科担任制の試行（一貫教育推進講師等の活用） 3 授業改善 (1) 「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業実施 (2) 小学校授業改善推進チーム（チームJ）の成果活用と中学校への波及 (3) 学習規律の徹底 (4) 一貫教育推進講師の配置（英語、算数、数学、各2名） (5) 小学校外国語教科全授業ALT配置 （小学校2名配置 865時間 中学校1名配置、108時間） 4 三課横断「学力向上対策」（放課後学習会、土曜教室、土曜学習会、プレイハウス） | | |
| | 中間評価 | | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった | | |
| 自己評価 | 【進捗状況】 1 小中学校が連携協働し、教育課程の編成を行った。 また、新型コロナウイルスの影響による2か月のブランクを回復するため、分散登校の実施や長期休業の短縮、行事の精選など学校への指導助言を行っている。 【資料6】 2 小中学校教員からなる「教科担任制WG」（各校の管理職または教務）を組織し、当別・西当別両地区の実態を考慮しながら、令和3年度からの実現に向け、具体策について検討を進めている。 【資料7】 3-(1) 各校の研修部が中心となって授業改善を進めている。校内研修には学校教育指導主事が出向いて指導助言を行い、改善 | | |

| | 中間評価 | 最終評価 |
|-----|--|---|
| | <p>を図っている。</p> <p>また、新型コロナウイルス対応を教訓に、臨時休校時においても「学びを止めない」ための授業の在り方について、各校において実証実験を始めている。</p> <p>3-(2)(3) 授業改善推進チームの取り組みを3年にわたり行ってきた。その結果として、授業の質の向上や学習規律の定着を図ることができ、成績の向上にもつながった。小学校のみならず、中学校にもその成果が波及させることができている。</p> <p>【資料8】 通信「紡」発行数：平成30年度 98号 令和元年度 72号</p> <p>3-(4)(5) 一貫教育推進講師（算数・数学2名、外国語2名）を各校に配置し、小・中学校間の接続を意識したティーム・ティーチング教育を推進した。</p> <p>また、ALT3名、外国語専科教員2名を配置し、9年を見通した外国語教育の推進を図った。</p> <p>4 社会教育課と連携し、放課後学習会や土曜教室、土曜学習会、当別町インターナショナルクラブなど、児童生徒の学力向上支援を実施している。子ども未来課との連携により、臨時休校時においてもプレイハウスを開設することができた。</p> |  |
| 担当係 | 学校教育係、一貫教育係 | |

| 点検項目 | | 豊かな心の育成（徳） | |
|-------------|--|------------|------|
| 2年度 達成目標 | 【達成指標】 ○いじめゼロ | | |
| 取組の 概要 | 1 教科道徳の円滑な実施 2 一貫した生徒指導の推進 (1) 児童生徒の小・中学校間の共通理解 (2) 小中合同事業の開催（児童会や生徒会共催、ボランティア活動、芸術鑑賞等） 3 読書活動推進（学校図書館の活用） 4 三課横断「心の育成事業」（通学合宿、合同道徳、プレイハウス、多世代交流事業、文化祭等） | | |
| | 中間評価 | | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて一定の進展があった | | |
| 自己評価 | 【進捗状況】 1 2か月のブランクはあるが、教育課程全体を通して、児童生徒の人間性・社会性を育み、「心」を育てる教育ができた。特に、各校では「考え、議論する道徳」を目指し、コロナ禍における弱者への思いやり、医療従事者への感謝などを取り上げた。また西当別中学校では、校内研究教科を道徳に設定し、今後成果を町内各校に成果を還元する。 2-(1) 小中学校間で常に情報共有を行っている。特に3月から4月は、小6担任から新年度中1担任予定教諭への詳細な引継ぎが行われ、クラス編成やその後の生徒指導に役立てている。 2-(2) 今年度前半は新型コロナウイルスの影響もあり、合同事業の実施はできていないが、今後状況を見ながら適宜、実施に向けた検討を行っていく。 3 コロナ禍であったが、町立図書館司書を中心に、学校図書貸し出しを実施し、児童生徒の読書習慣を低下させないよう努めた。 | | |

| | 中間評価 | 最終評価 |
|-----|--|------|
| | <p>4 今年度前半は新型コロナウイルスの影響もあり、多くの事業が実施できていないが、今後状況を見ながら、実施に向けた検討を行っていく。各学校では、道教委派遣のスクールカウンセラーによる相談を実施し、コロナ禍における児童生徒の「心のケア」に努めている。</p> | |
| 担当係 | 学校教育係、一貫教育係 | |

| 点検項目 健やかな体の育成（体） | | |
|------------------|--|------|
| 2年度 達成目標 | 【達成指標】 ○全国体力調査、体力総合得点全国平均以上 | |
| 取組の 概要 | 1 一貫した体力向上プラン 2 高等教育機関との連携 (1) 北海道医療大学との連携（歯科検診、フッ化物洗口、がん予防教育、ピロリ菌検査） (2) 日本体育大学との連携 3 安全安心な給食の提供 (1) 当別高校と連携したメニュー開発 (2) 地場産食材の活用 | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった | |
| 自己評価 | 【進捗状況】 1 今年度は新型コロナウイルスの影響で、全国体力調査の実施は見送られたが、児童生徒の体力の状況把握に向け、各学校では、児童生徒間の身体的接触がない「50m走、ボール投げ、反復横跳び、立ち幅跳び」を実施した。結果については、小中学校連携して分析を行い、体力向上プランを作成するよう指示をしている。今後それらをもとに町教委としてのプランをまとめていく。 2 高等教育機関との連携は、「歯科検診、ピロリ菌検査」など、実施できるものについては取り組んでいる。 3-(1) 当別高校とのメニュー開発は、当別150年記念事業で考案したメニューを給食風にアレンジし提供する予定であったが、次年度に繰り越しとなった。 3-(2) 地場産食材は、米、季節の野菜、肉等積極的に活用をしている。 また、北海道より無償提供のあった道産の牛肉・ホタテを活用したメニューを前期1回、後期5回実施する。 | |
| 担当係 | 学校教育係、一貫教育係、給食センター係 | |

| 点検項目 | 多彩な生涯学習プログラムの展開 | |
|-------------|---|------|
| 2年度 達成目標 | 【達成指標】 ○ことぶき大学各事業参加率70%以上 | |
| 取組の 概要 | 1 地域や当別高校、北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携及び人材活用 2 歴史・文化プロジェクトによる古文書解析 3 多世代交流事業（高齢者の生きがづくり）の推進 | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった | |
| 自己評価 | 【進捗状況】 1 新型コロナウイルス感染症によって事業の中止や制約を受けるなど影響は大きい が、できる範囲での実施をしながら、町民の生涯学習を止めないよう、今後も多方向と連携していく。 【資料9-①】【資料10】 2 吾妻家文書については令和3年度の公開を目指している。一般公開に向け史料整理や公開に関する規定制定の準備を進めている。また、「歴史学習講座」は、吾妻家文書の研究をテーマに継続的に実施しており、町民の古文書解析力の向上に結びついている。 【資料9-②】 3 「ことぶき大学」は、2か月のブランクはあるが、感染症対策に万全を期しながら、前期7回の講座を実施することができた。後期も学びを止めないよう工夫していきたい。 【資料9-③】 | |
| 担当係 | 生涯学習係、文化財保護係 | |

| | | |
|-------------|--|------|
| 点検項目 | 三課横断「児童生徒、学校及び家庭支援」 | |
| 2年度 達成目標 | 【達成指標】 ○学校要望 100% ○家庭学習習慣全国平均以上 | |
| 取組の 概要 | 1 小学校、中学校の授業への講師派遣 2 土曜教室の充実（地域巡検の実施） 3 多世代交流事業（伝統文化の継承、子育て支援） | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった | |
| 自己評価 | 【進捗状況】 1 講師派遣については、学校の要望に全て応えることができた。特に中学校ではミシン実技への講師派遣は好評であった。 今後学校要望に 100% 応えるべく準備を進める。 2 土曜教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により、5・6月の2回を中止とした。7月のふるさとの魅力を再発見する「地域巡検」は実施することができた。小学生 16 名の参加があり好評であった。後期も様々な体験学習の機会を提供する。 3 小学校運動会の規模縮小、町内イベントの中止によって、伝統文化（当別音頭等）発表の機会が失われた。後期においては、発表の機会を設けコロナ禍においても実施可能な形を模索し、保護者、子どもたちとの交流を進めたい。 | |
| 担当係 | 生涯学習係、学校教育係、一貫教育係 | |

| 点検項目 | 読書活動の推進 | |
|-------------|--|------|
| 2年度 達成目標 | 【達成指標】 児童生徒一人当たりの貸出図書数の増 | |
| 取組の 概要 | 1 子どもの読書活動推進 2 司書による図書館及び学校図書室の活性化 | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて相当な進展があった | |
| 自己評価 | <p>【進捗状況】</p> <p>1 当別町図書館内部の改修ができた。</p> <p>(1) 児童コーナーの拡大</p> <p>(2) 企画展示コーナーの新設</p> <p>(3) 自習スペースの増設</p> <p>(4) エントランス展示のリニューアル</p> <p>(5) レイアウトを一新し開放的なスペースを演出</p> <p>2 当別町図書館の改修に司書の意見を取り入れ充実したリニューアルができた。学校図書館については2か月のブランクはあったが、閉校期間の図書貸し出しなど一定の役割を果たした。</p> | |
| 担当係 | 生涯学習係 | |

| 点検項目 | 子育て支援の充実と幼児教育・保育の充実 | |
|-------------|---|------|
| 2年度 達成目標 | 【達成指標】 ○待機児童ゼロ | |
| 取組の 概要 | 1 就園援助事業の実施 2 保育士等就労支援事業の実施 3 幼保・小間接続プログラムの実施 4 三課横断「子育て支援事業」の実施 | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて進展があった | |
| 自己評価 | <p>【進捗状況】</p> <p>1-(1) 当別町独自の事業として、令和2年度より就園援助事業（所得の低い家庭への補助事業）を実施した。1号及び2号認定子どもに係る保育料以外の実費負担費用（主食費及び教材費）は、生活保護世帯を無償化した。</p> <p>1-(2) 多子世帯の負担軽減策として、3歳未満第2子の保育料無償となる第2子カウント年齢制限撤廃範囲を国の基準（生保・非課税世帯）から道補助対象基準（年収約640万円未満世帯）まで拡大し、子育て世帯の経済的負担軽減を図った。</p> <p>2 当別町独自の事業として、当別町内の認定こども園の保育士等の確保及び離職防止を図り、質の高い教育、保育を安定的に提供するため、認定こども園に一定期間勤務している保育士等に対して就労支援交付金の給付を行った。</p> <p>3 昨年度末に制定した、幼保小接続プログラムの実施に向け、年長児の指導を小学校と連携、協力し、1年という期間でコロナ対応も見据えながら進めていく。</p> <p>4 子育て支援センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため親子の交流事業「あそびのひろば」を当初休止していたが、6月から再開した。感染状況を確認しながら、開設日や人数、時間等を制限する中、利用者の要望に応えることができた。</p> | |

| | 中間評価 | 最終評価 |
|-----|---|------|
| | (あそびのひろば：前期 70 日開設) 後期に向け、社会教育課と連携した多世代交流や各講座、イベント等の開催を検討する。 | |
| 担当係 | 子ども係、子育てサポート係 | |

| 点検項目 | 社会全体で子どもを守る体制の構築 | |
|-------------|--|------|
| 2年度 達成目標 | 【達成指標】 ○児童虐待及び一時保護事案ゼロ | |
| 取組の 概要 | 1 児童虐待防止のための学校や各機関との連携 2 子どもプレイハウスの充実（自主学習、運動習慣の定着） | |
| | 中間評価 | 最終評価 |
| 目標の 達成状況 | 達成に向けて一定の進展があった | |
| 自己評価 | <p>【進捗状況】</p> <p>1 前期の児童虐待に伴う一時保護事案は1件あった。事案発生に対して、警察、関係学校、医師会、児童相談所と連携し、解決の道筋を作ることができた。引き続き、児童虐待防止のため関係機関と連携し対応する。</p> <p>2 子どもプレイハウスでは、新型コロナウイルス感染症に伴う学校臨時休校による急な開設時間の変更に対応し、利用自粛の呼びかけや活動を制限しながらの運営となったが、体育館の利用など学校の協力もあり児童が体を動かしたり密にならない活動ができた。</p> <p>学習習慣については、新1年生の落ち着きが見られなかったが、指導員の指導により徐々に改善され、学校再開以降、学習習慣も定着してきた。</p> <p>今後も感染症対策を施し、充実した活動ができるように進めて行く。</p> | |
| 担当係 | 子育てサポート係 | |

資料1

令和元年度 多彩な生涯学習プログラムの展開（事業実績）

① 北海道医療大学連携講座

| | 日程 | 事業名 | 対象者 | 参加人数 |
|-----|----------|-----------------------|-------|------|
| 1回目 | 7/28（日） | 生薬「槐花」で絹をオリーブグリーンに染める | 一般向け | 14 |
| 2回目 | 7/31（水） | 親から子へ受け継がれる遺伝子 | 小学生向け | 5 |
| 3回目 | 9/12（木） | 音楽で楽しく脳や体を動かしましょう | 高齢者向け | 38 |
| 4回目 | 10/12（土） | 国産サフランで絹布を黄色～橙色に染める | 一般向け | 14 |
| 5回目 | 10/17（木） | いつまでも生き生きと暮らすために | 高齢者向け | 47 |
| 6回目 | 1/9（木） | 小学生1日歯医者さん | 小学生向け | 17 |
| | | | 合計 | 135 |

② 当別町歴史学習講座

| | 日程 | コース | 参加人数 | コース | 参加人数 | 参加人数小計 |
|------|----------|----------|------|---------|------|--------|
| 1回目 | 5/18（土） | 中級（第1回） | 20 | 初級（第1回） | 20 | 40 |
| 2回目 | 6/15（土） | 中級（第2回） | 15 | 初級（第2回） | 12 | 27 |
| 3回目 | 7/20（土） | 中級（第3回） | 18 | 初級（第3回） | 14 | 32 |
| 4回目 | 8/17（土） | 中級（第4回） | 17 | 初級（第4回） | 11 | 28 |
| 5回目 | 9/21（土） | 中級（第5回） | 19 | 初級（第5回） | 17 | 36 |
| 6回目 | 10/19（土） | 中級（第6回） | 16 | 初級（第6回） | 13 | 29 |
| 7回目 | 11/16（土） | 中級（第7回） | 15 | 上級（第1回） | 13 | 28 |
| 8回目 | 12/14（土） | 中級（第8回） | 20 | 上級（第2回） | 12 | 32 |
| 9回目 | 1/18（土） | 中級（第9回） | 18 | 上級（第3回） | 12 | 30 |
| 10回目 | 2/15（土） | 中級（第10回） | 15 | 上級（第4回） | 13 | 28 |
| 11回目 | 3/14（土） | 中級（第11回） | 中止 | 上級（第5回） | 中止 | 中止 |
| | | | | | 合計 | 310 |

③ ことぶき大学

| | 日程 | 事業名 | 参加人数 |
|------|-----------|----------------------------|------|
| 1回目 | 5/12 (金) | 開講式、オリエンテーション | 47 |
| 2回目 | 5/24 (金) | 絵手紙を送ろう | 34 |
| 3回目 | 6/7 (金) | 花の育て方を学ぼう | 36 |
| 4回目 | 6/21 (金) | 町内施設見学①「道民の森ウォーキングとジンギスカン」 | 34 |
| 5回目 | 7/12 (金) | 当別今昔物語 | 36 |
| 6回目 | 7/26 (金) | 近隣市町村見学①「北広島・札幌市内の施設見学」 | 41 |
| 7回目 | 8/9 (金) | 町内施設見学②「当別神社と勝圓寺の見学」 | 26 |
| 8回目 | 8/23 (金) | 音楽を楽しもう①「尺八生演奏と音楽鑑賞」 | 35 |
| 9回目 | 9/6 (金) | 高校生と調理実習「太巻きの巻」 | 20 |
| 10回目 | 9/20 (金) | 近隣市町村見学②「栗山町」 | 37 |
| 11回目 | 10/11 (金) | パステルアートと書道 | 25 |
| 12回目 | 10/25 (金) | 省エネについて考えよう | 31 |
| 13回目 | 11/8 (金) | 音楽を楽しもう「二部合唱に挑戦」 | 38 |
| 14回目 | 11/21 (木) | 当別中学校訪問 | 17 |
| 15回目 | 12/6 (金) | アロマセラピー | 28 |
| 16回目 | 12/20 (金) | そば打ちを楽しもう | 22 |
| 17回目 | 1/17 (金) | 新年お楽しみ会 | 39 |
| 18回目 | 1/24 (金) | 軽スポーツ①「スポーツ吹き矢」 | 28 |
| 19回目 | 2/7 (金) | 軽スポーツ②「気功教室」 | 23 |
| 20回目 | 2/21 (金) | 明治出前講座「食べる事！」 | 30 |
| 21回目 | 3/13 (金) | 修了式・修了を祝う会 | 中止 |

ことぶき大学 課外・特別講座

| | 日程 | 事業名 | 参加人数 |
|-----|-----------|--------------|------|
| 1回目 | 6/24 (月) | 西当別小・中学校合同道徳 | 11 |
| 2回目 | 9/12 (木) | 医療大学連携講座① | 32 |
| 3回目 | 10/5 (土) | 当別高校フットパス | 10 |
| 4回目 | 10/17 (土) | 医療大学連携講座② | 32 |

ことぶき大学 多世代交流

| | 日程 | 事業名 | 参加人数 |
|------|-----------|-------------|------|
| 1回目 | 10/8 (火) | 子どものヘアカット | 4 |
| 2回目 | 10/31 (木) | お絵かき、びりびり遊び | 3 |
| 3回目 | 11/18 (月) | 音楽会 | 21 |
| 4回目 | 12/17 (火) | チューリップの球根植え | 中止 |
| 5回目 | 12/18 (水) | チューリップの球根植え | 7 |
| 6回目 | 12/24 (火) | クリスマス会 | 22 |
| 7回目 | 1/21 (火) | 鬼のお面づくり | 4 |
| 8回目 | 1/29 (水) | 鬼のお面づくり | 4 |
| 9回目 | 2/14 (金) | お楽しみ会 | 2 |
| 10回目 | 2/28 (金) | お楽しみ会 | 中止 |

令和元年度 ふれスポwithAMB 事業報告

| 事業名 | 開催日 | 実績 |
|----------------------|---|----------------------------|
| (通年事業) | | |
| ①心・体健康づくりプログラム | | |
| ・気功教室 | 第2, 4水曜日 13:30~15:00 | 年間16回 延129名 |
| ・バランス ボール教室 | 毎週金曜日 10:00~11:30 | 年間42回 延285名 |
| ・チャレンジ・ ヨガ教室 | 毎週木曜日 19:00~20:30 | 年間52回 延600名 |
| ・あへあほ体操教室 | 毎週火、水、金曜日 (水)10:00~11:00 (月・火・金)14:00~15:00 (火)19:00~20:00 | 年間160回 延1,798名 |
| (スポーツ教室) | | |
| ①一般バドミントン スクール | 毎週木曜日 10:00~12:00 | 45回 延216名 |
| (ジュニア教室) | | |
| ①ジュニアランニング | 5/7~5/10 15:30~16:45 | 4回 延77名 小学1~6年生 |
| ②ジュニアチャレンジ スポーツ | 毎週水曜日 15:30~16:50 | 37回 延744名 小学1~6年生 |
| ③ジュニアバドミントン | 毎週水曜日 15:30~16:45 | 39回 延662名 小学1~6年生 |
| ④ジュニアテニス | 7/25~7/30 10:00~11:00 | 予定数に満たない ため中止 |
| ⑤ジュニアスキー | 1/11・18・25~2/8 11:00~12:00 14:00~17:30 | 4回 延22名 小学1~6年生 |
| (ドルフィンスイミング) | | |
| ①ドルフィン70コース (土曜) | 6/15~9/14 毎週土曜日 10:00~11:00 11:00~12:00 | 13回 小学1~2年生 延219名 |
| ②ドルフィン130コース (土曜) | 6/15~9/14 毎週土曜日 10:00~11:00 | 13回 小学3~6年生 延155名 |
| ③ドルフィン130コース (水曜) | 6/16~9/15 毎週水曜日 17:00~18:00 | 11回 小学3~6年生 延40名 |
| ④ペンギンコース (土曜) | 6/16~9/15 毎週土曜日 11:00~12:00 | 13回 5・6歳児 延170名 |
| (プール教室) | | |
| ①夏休みジュニア スイミング教室 | 7/30~8/2 10:00~11:00 11:00~12:00 | 2教室各4回 小学1~6年生 延107名 |
| ②アクアフィットネス (一般) | 6/16~9/15 土曜日 11:00~12:00 | 11回 延32名 |

| 事業名 | 開催日 | 実績 |
|------------------------|-----------------------------|----------------------------|
| (スタジオプログラムメニュー) | | |
| ①筋トレシェイプアップ (一般) | 火曜日・金曜日 金曜は9月から実施 | 65回 延110名 |
| ②エアロビ (一般) | 水曜日 | 45回 延99名 |
| ③優しい運動教室 (一般) | 木曜日 | 66回 延211名 |
| ④フィットネスカレッジ (一般) | 第2・4水曜日 第1・3・5水曜日 | 44回 243名 |
| ⑤サタデーフィットネス (一般) | 土曜日 | 46回 113名 |
| ⑥優しいエアロビ (一般) | 木曜日 4月~8月実施 | 20回 11名 |
| ⑦男の運動教室 (一般) | 金曜日 4月~8月実施 | 20回 6名 |
| (主催・共催イベント等) | | |
| ①阿蘇岩ウォーキング | 7/21 9:30~14:00 | 町内22名町外21名 参加者43名 バス3台 |
| ②第11回記念 とうべつさわやか駅伝 | 9/29 9:00~14:00 | 参加82チーム 参加者440名 |
| ③晩秋に集う ストックウォーク | 10/12 9:00~15:00 | 町民対象 参加者23名 |
| ④スポーツ フェスティバル | 10/14 9:00~12:30 | 延べ参加者255名 |
| ⑤ドッジボール マッチinとうべつ | 11/9 9:00~15:00 | 町民対象 参加17チーム 参加者132名 |
| ⑥ミニバレー交流会 | 2/15 9:00~15:30 | 町民対象 参加21チーム 参加者92名 |
| ⑦オータムコンサート | 10/26 14:00~16:00 | 参加者47名 |
| ⑧当別町スポーツ体験会 | 7/6 | 参加30名 |
| (講習会研修会等) | | |
| ①マナーキッズ 体幹遊び教室 | 7/18 3.4校時 (交流会 7/18) | 当別小学校4年生 60名 |
| ②ウェルチエアラグビー の支援 | 5月、8月、9月 | 4回 |

ふくろう図書館

夏まつい

学びカフェ

7月27日(土)

10時30分～12時30分

場所:学習交流センターふくろう図書館

すいか割り

われるかな?



絵本の読み聞かせ

どんなお話かな?



短冊づくり

お願いなに?

絵本クイズ

プレゼント



当別町教育委員会社会教育課

問合せ: 0133-23-0573

学習交流センターふくろう図書館

駐車場・公民館



ぬいぐるみのお泊り会

大好きなぬいぐるみが、図書館にお泊り！
絵本を読んだり、クリスマス会をしたい…どんなふうにするのかな？
夜の図書館を冒険！！



☆お泊りの場所…学習交流センター図書室

☆お泊りの日…令和元年12月6日(金)～12月13日(金)

(この期間にぬいぐるみを持ってきてね)

☆おむかえの日…令和元年12月14日(土)1時30分～3時までに来てね

☆対象年齢…小学生まで

※クリスマス会でぬいぐるみたちの夜の図書館の様子を上映します。お楽しみね！！



学びカフェも開催

気軽に子育て
相談できます。



<問合せ・申込>

当別町教育委員会社会教育課
学習交流センター図書室
電話・FAX
0133-23-0573

12月14日(土) 13時30分～15時

場所:学習交流センター図書室



クリスマス会の内容

- 13:30～おはなし会
- 13:50～クリスマスの飾りづくり
- 14:10～ぬいぐるみお泊り会上映
- 14:30～サンタさんからプレゼント
- 14:40～サンタさんと記念撮影



| 名前 | 住所 | 電話 | ぬいぐるみお泊り | クリスマス会 |
|----|----|----|----------|--------|
| | | | | |

【点検項目】 家庭と一体となった子育て支援

【成果項目】 令和元年度子育て支援センター開催子育て講座・親育ち講座等内容一覧

| 区分 | 講座名 | 回数 | 講師（肩書、人数） |
|--------|-------------------|----|-----------------------------------|
| 子育て講座 | ベビーマッサージ | 8 | 刑部由美子氏 （わらべうたベビーマッサージインストラクター） |
| | ぱくぱく教室（離乳食） | 6 | 町管理栄養士（2人）助産師、保健師 |
| | お楽しみ講座 | 2 | 今井たづ子氏、宮本百合子氏 |
| | ハローイングリッシュ | 1 | 久保ジーナ氏 |
| | キッズ運動会 | 1 | 子ども未来課、社会教育課、 ゆうゆう、ファミサポ |
| | 絵本の読み聞かせ | 3 | 大澤俊信氏 |
| | お口の健康講座 | 1 | 齊藤正人氏 （北海道医療大学歯学部教授） |
| | ロディと遊ぼう | 4 | 近育愛氏 （バランスボールインストラクター） |
| | 成長記念プレート作り | 2 | 子育て支援センター担当職員 |
| | さくらもち作り体験 | 1 | 藤澤康一氏 （藤澤製菓代表取締役社長） |
| 親育ち講座 | 親子ヨガ | 3 | 小笠原あゆみ氏 （ヨガインストラクター） |
| | フラワーアレンジメント 体験 | 2 | 重原由美子氏（町内花卉農家） |
| | 子どものヘアカット | 2 | 三船勝也氏（美容師） |
| 多世代交流会 | おもちゃフェスティバル | 1 | 北海道グッドトイ委員会（7人） |
| | 秋の音楽会 | 1 | ムジカムボンテ（5人） |
| | もちつきの会 | 1 | 食生活改善協議会（7人） |
| | チューリップの栽培体験 | 2 | 山脇正春氏（町内花卉農家） |
| | お楽しみ会 | 7 | デイサービスセンター、 ことぶき大学 |
| | クリスマス会 | 1 | パフォーマーKURO氏 |
| その他 | マネーセミナー | 1 | 樫谷絢乃氏 （ファイナンシャルプランナー） |

全 50 講座

今後の教育課程について（令和2年度）

1 長期休業期間の変更

| | | 小 学 校 | 中 学 校 |
|------|-----|---|------------------------|
| 夏季休業 | 変更前 | 7月23日（木）～8月18日（火） | |
| | 変更後 | 7月23日（木）～7月26日（日） 7月31日（金）～8月 2日（日） 8月 8日（土）～8月17日（月） | |
| 秋季休業 | 変更前 | 10月12日（月） | |
| | 変更後 | 【授業日に振替】 | |
| 冬季休業 | 変更前 | 12月24日（木）～1月14日（木） | |
| | 変更後 | 変更なし | 12月26日（土） ～1月12日（火） |

2 長期休業期間変更に伴う授業日の設定

| | | 小 学 校 | 中 学 校 |
|---------------------|--|--|---|
| 前 期 (4/1～10/9) | | 7月27日（月）～7月30日（木） 8月 3日（月）～8月 7日（金） 8月18日（火） | |
| 後 期 (10/13～3/31) | | 10月12日（月） | 10月12日（月） 12月24日（木） ～12月25日（金） 1月13日（水） ～1月14日（木） |

3 その他

| | | 小 学 校 | 中 学 校 |
|------|--|-----------|-------|
| 土曜授業 | | 年度内2回（上限） | |

【教育課程編成委員会ワーキンググループ一覧表】

R2.8. 20 現在

| ワーキンググループ | | 担当監事 | メンバー |
|---------------|--------|--------|------------------------------|
| とうべつ未来学 WG | ふるさと教育 | 当別中教頭 | 町内小中学校教諭 計 5 名 |
| | 国際理解教育 | | 町内小中学校教諭 計 5 名 |
| | キャリア教育 | | 町内小中学校教諭 計 4 名 |
| 学びのハンドブック WG | | 西当別小教頭 | 町内小中学校教諭 計 5 名 |
| 教科担任制 WG | | 西当別中教頭 | 町内小中学校教諭 計 4 名 |
| 行事検討 WG | 体育的行事 | 当別小教頭 | 当別小中教諭 計 4 名 |
| | 文化的行事 | | 当別小中教諭 計 4 名 |
| | 儀式的行事 | | 当別小中教諭 計 2 名 および当別小中教頭 |
| | 旅行的行事 | | 当別小中教諭 計 2 名 および当別小中教頭 |

～つむぐ～



先生方と子どもたちでより楽しく、
わかりやすい学習が納められるよう
にできたらいいな…という思いを
込めてつけています。

令和2年 9月18日(金)

第19号

文責 高津



◇「深い学び」を実現するために

前号(18号)では、様々な要因でがんばれない子どもたちを、どうすれば「主体的な態度で学習させることができるのか」ということを記事にしました。今回も、「こんな工夫によって、主体的に学ぶことができるのでは？」ということをお伝えしたいと思います。

今週は、豊嶋学級の取り組みを紹介します！

★自分の考えを深める学習に向けて

★単元の見通しを持たせる

単元を通して、「習得を目標とする」と、「習得したことを生かして行う活動の目標」が、ゴールとしてはっきりと示されています。

単元の前半で文章の読み取りを行って「筆者の工夫」を学び、後半はハンフレット作りでその工夫を生かす流れになっています。

表現の工夫をどう生かして書くか、
習得したことを生かして書くこと

単元の見通し

単元を通して、「習得を目標とする」と、「習得したことを生かして行う活動の目標」が、ゴールとしてはっきりと示されています。

【6年2組 豊嶋先生 『鳥獣戯画』を読む】

単元の1時間目に、単元全体の計画を示した上で学習するスタイルは、研修グループからも提案されています。板書したことは、子どもたちもノートにしていねいに視写していました。

【単元の見通しを示すことで、何が期待できるのか(まだまだあるとは思いますが…)】

- 学ぶ内容や学ぶ順がはっきりする
- 文章を読む目的がはっきりする
- 学んだことを生かす機会がある
- 何が、どういう手順で進んでいくのかを確かめられる
- 読み取る観点がはっきりする
- 友だちとの交流により、自分にはない気づきが生まれる

⇒習得に向けての目標と、活用して学ぶ時の
目標をはっきり示す

★自ら気づかせ、課題意識を持たせる

まず、絵と文章を照らし合わせるのか...

単元の2時間目の学習です。

授業の最初に、「**今日は何を学習するのか**」ということを生徒は問いました。「今日は〇〇するよ」と示してしまうのではなく、**単元計画を示したノートを振り返り、学習課題を考えさせて**いました。**自ら気づくように仕向け、課題を明らかにする学習過程**はとても大切なことです。



★自分の考えを持ち、磨いていく



それはここじゃない?

まだら模様があって、いく筋か背中が盛り上がっていると書いてあるよ



課題がはっきりしたあと、絵と文章を結び付ける読み取り活動がスタート。

- ①個人での読み取り
- ②(ソーシャル)班活動
- ③全体発表

という流れで学習は進みました。

自分自身で読み取ったことが、対話活動によってだんだん確かなものになっていく過程です。

★伝わるように発表する、蓄積していく

全体発表では、他の友だちにわかるようにページや行、絵のどの場所か、説明と筆者の評価のちがいを等につけて、**読み取ったことが伝わるように発表**していました。

意外に**大事なのが「記録」**です。デジタル教科書は操作性、即時性、焦点化などに有効性を発揮しますが、読み取りは**「情報の蓄積」**が大事です。写真のように模造紙などの紙に残しておくことで、後の**「振り返り」**や**「手がかり」**になることは、皆さんもよく理解されていると思います。

青=絵の説明
赤=筆者の評価



○の△行目でここ、おかしくてもおもしろい。すぐ上手だけれど、たしかに漫画みたいだ。」というの
は、筆者の評価です。



後々の  に活かすために

⇒自分の考えをもち、だんだん強化・吸収・変更などを加えながら、確かな知識を習得していく

来週のJは、「当別小学校」での勤務となります!

～つむぐ～

あか

先生方と子どもたちでより楽しく、
わかりやすい学習が紡がれるよう
にできたらいいな…という思いを
込めてつけています。

令和2年 9月18日(金)
第19-2号
文責 橋本

あか

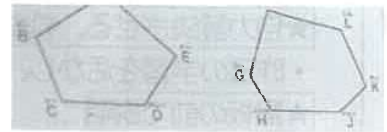


《今週の授業から》 主体的・対話的で深く学ぼうとする子どもに！ 西当小

考えを持つ→磨く・変化する→深く学ぶ

5年1組 大浦先生 『図形の角を調べよう』

多角形の角の大きさの和の求め方を考える学習です。



①【昨日の振り返り】から【今日の見通し】へ

- 三角形の角の大きさの和は180度・四角形は360度
- 補助線を引くとわかりやすかった
今日に生きる知識を**振り返り、それを手がかりにして考える**ことが確かめられました。



できそうかな？

②自力解決の保障 「五角形、六角形の場合は？」

- 自分の考えを様々な方法で表現～じっくり考えさせる
- 「**誰がどんな考えを書いているか**」をつかむ～机間指導



まずは、自分でやってみよう！

③交流タイムをとり、考えを深める

- 友だちがどんな考え方をしているか見て回る。
- 先生の支援＝「**いろんな考えがあるよ**」「**オンリーワンの考えがあるよ**」



考えの変化・強化
気づき、発見

④きまりを見つける

- 三角形の数と角の大きさの和との関係に着目させる。
 $180 \times 3 = 540$ 、 $180 \times 4 = 720$



学習事項を
習得する

⑤振り返る

- 自分の学びや気づきに目を向けさせる



学び方・学習事項を
深める、省察する

【振り返りから】

- 三角形や四角形の角の大きさの和がわかると、ある程度の図形はわかりそう。
- 多角形は、180度ずつ大きくなっていくことがわかった。
- みんなで歩いて交流して、いろいろな人の考え方がわかった。
- 補助線で分けた三角形の数で、何角形なのかわかるようになった。
- 表にすると、ともなって変わるということがわかった。いろいろな多角形もやってみたい。

六角形は、三角形2個と四角形1個に分けたのか・・・



五角形を三角形と四角形に分けているね。

180度ずつ増えていくってすごいね・・・これがオンリーワンじゃない？



補助線を引かないで考えたんだ・・・



自分の表現を大切に／前の時間との違いを考えさせる

3年1組 岡村先生 『3けた×1けたの かけ算』

かけ算の筆算の学習です。前の問題と何が違うか考えさせることによって、今日の学習事項に注目させることができたのではないかと思います。

★答えの予想を立てさせる

- 386 をぴったりの数にして考えると…
→300?350?400?
→ $400 \times 2 = 800$ だから、800 より少し小さいな



★自力解決させる、机間指導で実態把握

- 昨日の学習を活かし、一の位から順にかけていく

★黒板の前で説明

- 自分がやった通りに、みんなの前で再現させる

★自分の言葉で言わせる

- 時間がかかっても、口出ししないで待つ

→じれったいですが、子どもの達成感や今後の意欲につながるのではないのでしょうか。

★前の問題との違いに気づかせる

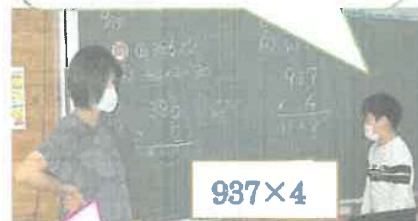
- 昨日は繰り上がりがなかったけど、今日はあった
- さっきとちがって、答えが「千の位」にまでいっている

子どもたちを学習の主人公にして粘り強く学習させたこと、前との違いを考えさせたことで、自分たちで学習事項を発見することができたのではないかと思います。



・・・ $2 \times 3 = 6$ で、繰り上がりをした1をたして、答えは772です。

・・・ $4 \times 9 = 36$ で、繰り上がった1をたして37です。だから、答えは3748です。



さっきの問題とどこがちがうかな?

自分の考え+友だちの考え=より深まる

4年1組 佐伯先生 『新聞を書こう』

教科書の「ここにこ新聞」から、自分の新聞づくりにいかせるような工夫をさがす学習でした。

☆「新聞の工夫」を探すことを確認

- デジタル教科書⇒見てほしいところを見える化

☆新聞にのせるインタビューをするときに、大切なことを1つ書く。(自分の考えをもつ)

☆ノートを見て回る

- 良いと思った友だちの考えを取り入れる

この学習でも、自分の思いや気づきからスタートし、対話的な学習を通して、考えを深める学習過程になっています。

これから行う社会見学の新聞作りに、きっと活かされていくことでしょう。



インタビューするとき大切なことを書こう!!

話すことをちゃんと決めておくのか〜。



質問したら最後にお礼を言うっていいな、書いておこう。

令和2年度 多彩な生涯学習プログラムの展開（事業実績）

R2.9.30現在

① 北海道医療大学連携講座

| | 日程 | 事業名 | 対象者 | 参加人数 |
|-----|----------|-------------------|-------|------|
| 1回目 | 6/21（日） | 染物講座 | 一般向け | 中止 |
| 2回目 | 7/31（金） | 骨伝導に関する講座 | 小学生向け | 中止 |
| 3回目 | 9/17（木） | 音楽で楽しく脳や体を動かしましょう | 高齢者向け | 34 |
| 4回目 | 9/26（土） | 染物講座 | 一般向け | 中止 |
| 5回目 | 10/15（木） | いつまでもいきいきと暮らすために | 高齢者向け | |
| 6回目 | 1/7（木） | 小学生1日歯医者さん | 小学生向け | |
| | | | 合計 | 34 |

② 当別町歴史学習講座

| | 日程 | コース | 参加人数 | コース | 参加人数 | 参加人数小計 |
|------|----------|----------|------|---------|------|--------|
| 1回目 | 5/16（土） | 中級（第1回） | 中止 | 初級（第1回） | 中止 | 中止 |
| 2回目 | 6/13（土） | 中級（第1回） | 12 | 初級（第1回） | 19 | 31 |
| 3回目 | 7/18（土） | 中級（第2回） | 22 | 初級（第2回） | 24 | 46 |
| 4回目 | 8/22（土） | 中級（第3回） | 21 | 初級（第3回） | 23 | 44 |
| 5回目 | 9/19（土） | 中級（第4回） | 20 | 初級（第4回） | 23 | 43 |
| 6回目 | 10/17（土） | 中級（第5回） | | 上級（第1回） | | |
| 7回目 | 11/21（土） | 中級（第6回） | | 上級（第2回） | | |
| 8回目 | 12/19（土） | 中級（第7回） | | 上級（第3回） | | |
| 9回目 | 1/16（土） | 中級（第8回） | | 上級（第4回） | | |
| 10回目 | 2/20（土） | 中級（第9回） | | 上級（第5回） | | |
| 11回目 | 3/13（土） | 中級（第10回） | | 上級（第6回） | | |
| | | | | | 合計 | 164 |

③ことぶき大学

| | 日程 | 事業名 | 参加人数 |
|------|-----------|----------------|------|
| 1回目 | 6/26 (金) | 開講手続き | 47 |
| 2回目 | 7/10 (金) | スポーツにドラマあり | 40 |
| 3回目 | 7/31 (金) | 体力テスト | 33 |
| 4回目 | 8/7 (金) | 絵手紙教室 | 21 |
| 5回目 | 8/21 (金) | アダブデットスポーツ | 37 |
| 6回目 | 9/4 (金) | パークゴルフ | 25 |
| 7回目 | 9/25 (金) | パステルアートで年賀状づくり | 22 |
| 8回目 | 10/22 (木) | アロマで消臭&お掃除 | |
| 9回目 | 11/6 (金) | 音楽を楽しもう① | |
| 10回目 | 11/20 (金) | リースづくりと冬の鉢花管理 | |
| 11回目 | 12/11 (金) | 和のフィットネス | |
| 12回目 | 1/15 (金) | 新年お楽しみ会 | |
| 13回目 | 1/22 (金) | 音楽を楽しもう② | |
| 14回目 | 2/5 (金) | 内容未定 | |
| 15回目 | 2/19 (金) | ソープカービング | |
| 16回目 | 3/12 (金) | 修了式 | |
| 17回目 | | | |
| 18回目 | | | |
| 19回目 | | | |
| 20回目 | | | |
| 21回目 | | | |

ことぶき大学 課外・特別講座

| | 日程 | 事業名 | 参加人数 |
|-----|-----------|--------------|------|
| 1回目 | 6/29 (月) | 西当別小・中学校合同道徳 | 中止 |
| 2回目 | 9/17 (木) | 医療大学連携講座① | 31 |
| 3回目 | 10/3 (土) | 当別フットパス | |
| 4回目 | 10/15 (木) | 医療大学連携講座② | |
| 5回目 | 12/25 (金) | 医療大学連携講座③ | |

ことぶき大学 多世代交流

| | 日程 | 事業名 | 参加人数 |
|------|----|-----------|------|
| 1回目 | | 今年度はすべて中止 | |
| 2回目 | | | |
| 3回目 | | | |
| 4回目 | | | |
| 5回目 | | | |
| 6回目 | | | |
| 7回目 | | | |
| 8回目 | | | |
| 9回目 | | | |
| 10回目 | | | |

令和2年度 ふれスポwithAMB 事業報告(9月30日まで)

| 事業名 | 開催日 | 実績 |
|----------------------|---|-----------------------------|
| (通年事業) | | |
| ①心・体健康づくりプログラム | | |
| ・気功教室 | 第2・4水曜日 13:30～14:30 | 7回 延56名 |
| ・バランス ボール教室 | 毎週金曜日 10:00～11:00 | 17回 延126名 |
| ・チャレンジ・ ヨガ教室 | 毎週木曜日 19:00～20:00 | 17回 延124名 |
| ・ピラティス教室 | 毎週火曜日 15:15～16:15 | 11回 延123名 |
| ・あへあほ体操教室 | 毎週火、水、金曜日 (水)10:00～11:00 (月・火・金)14:00～15:00 (火)19:00～20:00 | 67回 延801名 |
| (スポーツ教室) | | |
| ①一般バドミントン スクール | 毎週木曜日 10:00～11:15 | 15回 延92名 |
| (ジュニア教室) | | |
| ①ジュニアランニング | 5月 | 中止 |
| ②ジュニアチャレンジ スポーツ | 毎週水曜日 15:45～17:00 | 11回 延306名 小学1～6年生 |
| ③ジュニアバドミントン | 毎週水曜日 15:30～16:45 | ①低学年11回 延107名 小学1～6年生 |
| ④ジュニアテニス | 7/25～7/30 10:00～11:00 | 中止 |
| ⑤ジュニアスキー | | |
| (ドルフィンスイミング) | | |
| ①ドルフィン70コース (土曜) | 7/4～9/5 毎週土曜日 10:00～11:00 11:00～12:00 | 2教室 各9回 小学1～2年生 延190名 |
| ②ドルフィン130コース (土曜) | 7/4～9/5 毎週土曜日 10:00～11:00 | 9回 小学3～6年生 延117名 |
| ③ドルフィン130コース (木曜) | 7/4～9/5 毎週木曜日 16:30～17:30 | 9回 小学3～6年生 延37名 |
| ④ペンギンコース (土曜) | 7/4～9/5 毎週土曜日 11:00～12:00 | 9回 5・6歳児 延122名 |
| (プール教室) | | |
| ①夏休みジュニア スイミング教室 | | 中止 |
| ②アクアフィットネス (一般) | 6/16～9/15 土曜日 11:00～12:00 | 9回 延78名 |

| 事業名 | 開催日 | 実績 |
|------------------------|------------------------|--------------|
| (スタジオプログラムメニュー) | | |
| ①筋トレシェイプ (一般) | 火曜日・金曜日 19:00～20:00 | 21回 延43名 |
| ②はつらつ教室 (一般) | 水曜日 10:00～12:00 | 17回 延132名 |
| ③優しい運動教室 (一般) | 木曜日 | 30回 延110名 |
| ④フィットネスカレッジ (一般) | 第2・4水曜日 第1・3・5水曜日 | 17回 148名 |
| ⑤サタデーフィットネス (一般) | 土曜日 | 16回 55名 |
| (主催・共催イベント等) | | |
| ①阿蘇岩ウォーキング | | 中止 |
| ②第12回記念 とうべつさわやか駅伝 | | 中止 |
| ③晩秋に集う ストックウォーク | | 中止 |
| ④スポーツ フェスティバル | | 中止 |
| ⑤ドッジボール マッチinとうべつ | | 中止 |
| ⑥ミニバレー交流会 | 2月 9:00～15:30 | 検討中 |
| ⑦白コミコンサート | | 中止 |

第4章 外部評価

○外部評価委員

冷川元彦氏（白樺コミュニティーセンター長）

浜上尚也氏（北海道医療大学准教授）

教育委員会において実施した事務事業評価に対し、概ね妥当であるとの評価をいただきました。

1 学校教育分野について

| 学識経験者の意見 | 今後の取組等について |
|---|--|
| <p>新型コロナウイルス感染予防の影響による空白を埋めるために、長期休業の短縮等、様々な工夫をして授業時数の確保に努められたと思います。</p> <p>一部の学年や個人が不利益を被らないように、今後も学習指導要領の完全実施に努めていただきたいと思います。（冷川氏）</p> | <p>授業時数と学習進捗の確認については、8月末、11月末及び2月末に行い、適宜指導・助言を行います。特に小6・中3には注意をし、丁寧な指導・支援をしてまいります。</p> |
| <p>教員研修会は、今後も継続して実施することが望ましいです。</p> <p>また、実施後のアンケート等で成果を検証していただきたいです。（浜上氏）</p> | <p>すべての研修会后、アンケートによる成果検証を実施し、次につなげております。</p> |
| <p>教科担任制については、ワーキンググループによる検討を重ね、来年度から実施と聞いております。メリットは大きいので、一貫教育推進講師を始め、5・6年の担任、担外も含めて、最善の方法を模索し、できるだけ多くの教科での実施を期待しています。</p> <p>また、新設校では、小中の横断授業も考えられるので、小中の免許保持者を念頭に来年度の人事異動も重要かと思えます。</p> <p>教科担任制に限らず、「とうべつ学園」開校までの動き、とりわけワーキンググループの話し合いの経過など、結果の報告だけでなく、町民や保護者の皆さんが理解と納得を深めら</p> | <p>いただいたご意見を参考に今後も準備を進めてまいります。とうべつ学園に係る情報発信につきましては、「開校準備だより」の形でホームページに公開しておりますが、教科担任制やとうべつ未来学など、ワーキンググループを中心とした教育課程に関する進捗状況につきましても積極的な情報発信に努めてまいります。</p> |

| 学識経験者の意見 | 今後の取組等について |
|---|---|
| <p>れるような情報発信に努めるべきだと思います。</p> <p>「とうべつ学園」は、町内・管内はもとより、全道・全国でも先進的取組として期待され、注目されています。その意味においても、ホームページ等を積極的に活用した情報発信を今から進めてほしいと思います。(冷川氏)</p> | |
| <p>授業は、言うまでもなく教育活動の根幹をなすものです。これまでに校内研修を始め、町・管内での研究を積み重ねられた結果、学力の向上など一定の成果をあげられました。今後も全教職員が児童・生徒の実態を把握し、課題を共有して目標の達成に向けて努力を続けていただきたいと思います。</p> <p>「とうべつ学園」と西当別小・中学校は、今後、施設・設備を始め、様々な学習環境の違いが顕著になっていくと思われませんが、人的配置、学力保障など、公平性が保たれるような努力をしていただきたいと思います。(冷川氏)</p> | <p>人的配置につきましては、両地区における教育活動が偏りなく推進されるよう同様の配置をしております。今後も公平性が保たれるよう努めてまいります。</p> |
| <p>一貫教育に対して、小中が連携して実施されている点は良いと考えますが、学力が不足している児童生徒に対しては、どのような対策を行っているのでしょうか。(浜上氏)</p> | <p>少人数や習熟度別授業、放課後学習会、小中間での情報共有を行っております。</p> |
| <p>通信「紡」は、内容・構成も本当に素晴らしいと思います。管内・全道に誇れる財産です。当然のことながら、発行することが目的ではありませんから、内容について先生方みんなで共通理解を図り、その成果を確かめ合いながら、授業改善を進めていってほしいと思います。</p> <p>教育委員会には、中学校へのつなぎ、橋渡しを担うとともに指導・助言と支援の体制を構築していただきたいです。(冷川氏)</p> | <p>授業改善推進チームの取り組みが町内全体のものとなり、事業終了後もこのノウハウがしっかりと根付いていくよう、指導・助言や支援をしてまいります。</p> |
| <p>指導体制の整備は、確かな学力育成のためには重要な要素の一つになります。教員の質的向上、指導力向上を図りながら、できるだけ多くの加配教員の確保や非常勤職員の活用も重要</p> | <p>当別町教育の長期的な展望をもとに、適切な人員配置を進めてまいります。</p> |

| 学識経験者の意見 | 今後の取組等について |
|--|--|
| <p>です。</p> <p>ただ、人的配置が目的ではないので、今一度、どんな方法、内容でどんな子どもたちを育てるのか、確認しなければなりません。(冷川氏)</p> | |
| <p>小学校低学年から外国語にふれる機会を設けたことは良かったと思いますが、中学校卒業までに外国語のどんな力を育てるのか、もっと明確にすることが求められると思いますし、それが当別の特色ある教育の一つにもなるのではないかと思います。</p> <p>また、日本語を大切にし、国語教育の充実を図ることも重要だと考えます。(冷川氏)</p> | <p>外国語ばかりではなく、各教科9年という期間の中でつける力を明確にし、一貫した教育ができるよう人的配置など進めてまいります。</p> |
| <p>三課横断は、大変有意義な取り組みだと思います。放課後学習会は、社会教育課が中心となって地域人材を活用して実施していますが、目的が少し見えない状況になっていないでしょうか。自学自習の態度を育成したり、学力向上を図るために、現状からのステップアップに取り組む時期にきているような気がします。そのためには、先生方に負担をかけない連携の在り方を考えたり、保護者の協力を得る方策を探ったりするなど CS の活動とも関連付けながら学習会の充実を図ることが求められると思います。(冷川氏)</p> | <p>各々の事業の目的を明確にし、三課共有しながらご指摘を参考に、よりよい事業を目指してまいります。</p> |
| <p>土曜教室、土曜学習会も社会教育課の方がコーディネーターとしての任を負い、活動しています。土曜学習会では、中学生の学期末試験前に模擬講座を開設するなど、新しい取り組みを展開している点は高く評価できます。</p> <p>ただ、参加人数に課題があると聞いていますので、学校との連携をさらに深める必要があると思います。</p> <p>また、学力の向上を目指すのであれば先生方の協力が不可欠ですので、そのための組織・協働体制の確立が望まれます。(冷川氏)</p> | <p>子ども達への働きかけや先生方との連携の在り方など、ご指摘のとおり改善を進めてまいります。</p> |

| 学識経験者の意見 | 今後の取組等について |
|--|---|
| <p>道徳は、教育課程全体を通して行われるものではありませんが、教科道徳の果たす役割は非常に大きいと考えています。</p> <p>現場では、新型コロナなど今日的な課題に目を向け、児童生徒の心を育む授業実践に取り組んでおられるという点は評価できます。今後も今日的な社会問題や児童生徒の身近な課題を取り上げて柔軟に教育課程を運用する姿勢を大切にしていってほしいと思います。(冷川氏)</p> | <p>道徳については、ご意見を参考に学校への指導・支援をしてまいります。</p> |
| <p>町内の小中学校では、生徒指導にかかわる事件・事故がほとんどないと聞いています。児童生徒が落ち着いた学校生活を過ごせるのは、先生方の指導の賜物であり敬意を表したいと思います。落ち着いている今だからこそ、より高みを目指した生徒指導を確立していってほしいと思います。</p> <p>また、スマホの使用等に関わって生徒会主体で、あるいはPTAやCSを巻き込んでルールを作成し、PR活動を展開するなど自主的・主体的な活動が展開出来たら素晴らしいと思います。</p> <p>今年は、コロナ禍の影響で学校行事や小中の合同事業など中止になったものが多かったと思います。じっくりと計画を練り、来年度に向けて小中連携活動が充実したものになることを願っています。(冷川氏)</p> | <p>ご指摘を参考に、特に子ども達が自律に向かうような指導・取り組みを進めるよう学校への支援を進めてまいります。</p> |
| <p>地域との連携・協力の中で事業を遂行できている点は良いと思います。</p> <p>ボランティア活動がなぜ大切であるのかについて、意識付けをしっかりと行うことが望まれます。(浜上氏)</p> | <p>ご指摘を参考に取組みを進めてまいります。</p> |
| <p>児童生徒の豊かな心を育む読書活動は、本当に大切なものです。図書館の整備・充実を図ることはもちろんですが、読書習慣を確立し、読書量を増やすためにどんな取り組みをしていくのか、具体的な方策を明らかにしてほしいと</p> | <p>ご指摘のとおり年間を通した具体的な取組み、図書館としての役割を果たしてまいります。</p> <p>子ども達の読書量増について</p> |

| 学識経験者の意見 | 今後の取組等について |
|---|---|
| <p>思います。(冷川氏)</p> | <p>は、学校との連携も不可欠ですので、司書を通じて具体策を講じていきます。</p> |
| <p>新型コロナウイルスの影響でほとんどの事業が実施できませんでした。早期の終息を期待していますが、難しいような気がします。来年度は、規模を縮小したり、内容の修正を図ったりしながら、実施することを前提に準備を進めてほしいと思います。(冷川氏)</p> | <p>ご指摘のとおり進めてまいります。</p> |
| <p>SGD (Small group discussion : 少人数グループでの話し合い) 等を行う場合、参画が苦手な児童生徒へは、どのような配慮を行っているのでしょうか。(浜上氏)</p> | <p>より少人数での話し合いにしたり、発言できない場合でも自分の考えをノートに記載し、授業者が確認したりするなど参加を促しております。</p> |
| <p>今年度の体力調査は、一部の種目のみ実施したようですが、体力づくりは学校だけで完結するものではありません。北海道医療大学との連携、地域や家庭との連携も含めて具体的内容を盛り込んだ体力向上プランの作成を期待します。(冷川氏)</p> | <p>ご指摘のとおり進めてまいります。</p> |
| <p>運動能力(量)のみならず、今後は運動の質も問われるため、体力テスト等の測定方法を確認する必要があると考えます。(浜上氏)</p> | |
| <p>北海道医療大学や日本体育大学との連携が謳われていますが、今年度は新型コロナウイルスの影響で難しかったものと思います。両大学が持つ教育機能や人材の活用は、多大なメリットをもたらすはずで、積極的な連携事業の推進を期待しています。(冷川氏)</p> | |
| <p>健やかな体の育成に向け、子どもの体力向上に繋がる事業を展開することが望まれます。(浜上氏)</p> | |
| <p>農業の町「当別」ですから、地場産食材の積極的活用や当別高校とのメニュー開発は、評価できますし、今後も継続して行ってほしいと思います。(冷川氏)</p> | <p>ご指摘のとおり進めてまいります。</p> |

2 社会教育分野について

| 学識経験者の意見 | 今後の取組等について |
|--|--|
| <p>町内の他団体と連携し、その教育機能や人材を活用していくことは必要不可欠です。とりわけ、北海道医療大学との連携は重要です。</p> <p>また、スポーツ・文化の「人材バンク」を整備することが必要です。有資格者の技術・能力を生かす場の提供、町民の学習ニーズに応える人材派遣のシステムの構築です。</p> <p>さらに、町内の各種団体を見ると高齢化が顕著になっています。指導者も言うに及ばずです。団体育成、指導者養成が急務であり、そのプランづくりが求められます。(冷川氏)</p> | <p>ご指摘のとおり進めてまいります。</p> |
| <p>生涯学習プログラムにおける「参加者数前年比10%増」を達成目標とする取り組みは良いのですが、「60代の参加者及び男性」が少ないことについては、事業内容を精査する必要があると考えます。(浜上氏)</p> | <p>幅広い層の参加を得られるよう、事業内容の工夫に努めてまいります。</p> |
| <p>高齢者事業においては、横の繋がりとして福祉課との共同事業等を展開して効率化を図ることが望ましいと考えます。(浜上氏)</p> | <p>ご指摘のとおり他部署との連携をこれまで以上に図ってまいります。</p> |
| <p>「歴史学習講座」は、参加者の意識も高く、熱心な取り組みが見られています。150年を迎えた歴史ある当別町においては大切な学習機会だと思えます。(冷川氏)</p> | <p>古文書を通じ、地域の歴史を学ぶ貴重な場でありますので、今後も継続してまいります。</p> |
| <p>高齢者の生きがいづくりの一つとして異世代交流を推進することは意義があると思えます。今後は、単なる交流だけでなく、高齢者の持っている経験や技能を生かす場面づくり、若い世代への伝承の場づくりが求められます。生きがいにつながるプログラム作成に取り組んでみてはどうでしょうか。(冷川氏)</p> | <p>現在も一部プログラムの中にありますが、さらに拡大していく方向で検討を進めてまいります。</p> |

| 学識経験者の意見 | 今後の取組等について |
|--|---|
| <p>学校支援地域本部事業として、学校の要請に応じて講師を派遣しており、非常に喜ばれているようです。前段でも述べたように、今後さらに内容の充実した「人材バンク」が整備されれば、学校としても授業での活用をさらに広げることができると思います。地域人材の活用は、児童生徒にも大きなメリットがあります。(冷川氏)</p> | <p>人材バンクの整備は毎年行っておりますが、多くの人の協力を得るため充実を図ってまいります。</p> |
| <p>学校部活動への支援については、他団体との連携を行うことが良いと考えます。(浜上氏)</p> | <p>ふれ・スポ・とうべつとの連携を考えております。</p> |
| <p>土曜教室の目的や意義に照らし合わせて実態はどのようなのでしょうか。本当に必要かどうかも含めて原点に戻って見直す時期ではないでしょうか。(冷川氏)</p> | <p>ご指摘のとおり検討してまいります。</p> |
| <p>伝統文化の継承という観点では、高齢者の生きがいづくりと絡めて推進して行ってほしいです。(冷川氏)</p> | <p>ご指摘のとおり進めてまいります。</p> |
| <p>当別町図書館の内部がリニューアルされて、新しいコーナーやスペースが生まれ、使いやすくなったと思います。新刊をさらに増やし、蔵書の増加を推進してください。</p> <p>また、新刊図書案内の充実、図書のポップの充実、貸出図書ランキング、企画展示の工夫等々、利用者の興味を引き、貸出しの増加につながる企画や工夫を進めてほしいと思います。(冷川氏)</p> | <p>ご指摘のとおり、より多くの方に親しまれる図書館づくりのための企画を実行してまいります。</p> |
| <p>当別町図書館の利用について、小中学生へはどのように促しているのでしょうか。</p> <p>また、町民の利用率はどのような状況でしょうか。(浜上氏)</p> | <p>企画展や図書館まつり、読書週間の設定など利用を促している。学校と連携し、取組みを進めてまいります。</p> <p>年間貸し出し数は約2万冊となっており、さらに多くの住民に利用される運営を進めてまいります。</p> |

| 学識経験者の意見 | 今後の取組等について |
|---|---|
| <p>学校図書館における司書の役割は大きいので、現在どの程度の頻度で訪問しているか分かりませんが、できるだけ多く、できるだけ長く訪問し、図書委員会の生徒と新しい企画を考えたりに一緒に活動したりするなど、学校図書館の充実に努めてほしいと思います。(冷川氏)</p> | <p>現在、町内各学校週1回の派遣を行っており高い評価を受けておりますし、拡大の方向で検討を進めてまいります。</p> |
| <p>目標にある「読書活動の推進」については、どのような評価をされますか。(浜上氏)</p> | <p>今年度読書活動推進のため、図書館の環境整備を行い好評です。 今後は、図書館を核として多様な事業を進めてまいります。</p> |

3 子育て・幼児教育分野について

| 学識経験者の意見 | 今後の取組等について |
|--|---|
| <p>町独自の就園援助事業は、子育て世代の経済的負担の軽減となり、とても良いと思います。経済的支援と合わせて、当別町の教育そのものが質の高い魅力あるものになれば、豊かな自然環境もあるし、移住者等の増加にもつながるのでないかと思います。(冷川氏)</p> | <p>今後においても就園援助事業を継続するとともに、幼児教育の質を高めるため、認定こども園と連携し保育・教育内容を研究してまいります。</p> |
| <p>就労支援給付金は、保育士等の確保と離職防止が目的のようですが、有能な人材を得るためには金銭的な面での保障とともに、就労条件の改善や働きやすい職場環境の整備も必須条件だと思います。こちらにも目を向けて改善を図ってほしいと思います。(冷川氏)</p> | <p>ご指摘のとおり進めてまいります。</p> |
| <p>幼保の児童が小学校への抵抗をなくしスムーズに入学するためには、幼保・小間の連携を深め、接続プログラムを着実に実施することが肝要です。保護者の声も大事にしながら、親子が不安なく小学校に進めるように手立てを尽くしてほしいと思います。(冷川氏)</p> | <p>本プログラムの効果を認定こども園、小学校で検証を行い、効果的なプログラムになるよう定期的に見直していきたいと考えております。</p> |

| 学識経験者の意見 | 今後の取組等について |
|---|--|
| <p>「あそびの広場」は、親子の交流事業ですが、親同士の交流を図ることができるのも大きな魅力だと思います。利用者の声を大事にしながら、魅力あるプログラムを作成し事業の推進にあたってほしいと思います。(冷川氏)</p> | <p>ご指摘のとおり進めてまいります。</p> |
| <p>児童虐待は、絶対に許されない行為です。子どもの人生を破壊する行為です。その防止のために、虐待についての情報提供、相談体制の確立、関係機関との連携など、「虐待を許さない家庭・地域づくり、早期発見・早期対応の体制づくり」に努める必要があると思います。(冷川氏)</p> | <p>児童虐待の未然防止や早期発見のための周知活動と関係機関との連携した対応や相談・支援を今後も引き続き実施してまいります。</p> |
| <p>コロナウイルスの影響を受けている状況下で、プレイハウスの運営は、大変ご苦勞があったと思います。</p> <p>プレイハウスが単なる放課後の居場所で終わらないように、学習習慣や基本的生活習慣の確立、学力向上を目指して取り組んでいただきたいと思います。そのためには、学校とのより深い連携が不可欠ですし、CS や PTA とともに連携し、新しいプレイハウスのスタイルを考えてみるのも有益かと思えます。(冷川氏)</p> | <p>プレイハウスにおいて、現在の自習の時間、体力向上の時間は定着してきております。今後、ふれ・スポ・とうべつや地域の外部資源を活用しながら運営してまいります。</p> |
| <p>当別町における地域包括ケアシステムは、高齢・障がい・生活困窮・子育てなど、町全体の福祉に関わる問題を包括的に捉え、解決に導く仕組みづくりが構築されているとは思いますが、充実と有効利用について考えてみてはいかがでしょうか。(浜上氏)</p> | <p>地域包括ケアシステムの中で、教育委員会の果たすべき役割を考え、他の機関とともに地域の福祉を支えていく方向で取組みを進めてまいります。</p> |

《資料編》

1 教育委員会委員名簿

(令和2年10月1日現在)

| 氏名 | 生年月日 | 任期 | |
|------------------|-----------|----------------|---|
| 教育長 本庄幸賢 | S28.11.26 | 1期 1期 2期 | 【旧教育長】 平成25年10月1日から平成28年9月30日 【新教育長】 平成28年10月1日から令和元年9月30日 令和元年10月1日から令和4年9月30日 |
| 教育長職務代理者 武岡和廣 | S24.9.4 | 1期 2期 3期 | 平成22年10月1日から平成26年9月30日 平成26年10月1日から平成30年9月30日 【委員長職務代理者】 平成24年10月1日から平成28年9月30日 【教育長職務代理者】 平成28年10月1日から平成30年9月30日 平成30年10月1日から令和4年9月30日 |
| 委員 寺田郷子 | S40.10.6 | 1期 2期 3期 | 平成23年12月15日から平成27年12月14日 平成28年12月15日から令和元年12月14日 令和元年12月15日から令和5年12月14日 |
| 委員 小林泰雄 | S47.1.13 | 1期 2期 3期 | 平成24年10月1日から平成28年9月30日 平成28年10月1日から令和2年9月30日 令和2年10月1日から令和6年9月30日 |
| 委員 佐々木成尉 | S48.6.1 | 1期 | 平成29年11月1日から令和3年10月31日 |

当別町教育推進計画

めざす人間像

～社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人～

- 1 基礎基本に基づく発展的学力、自ら学ぶ意欲、～夢や希望を実現するため努力し、行動できる子ども～
- 2 豊かな人間性、～自分を大切に人を大切に、未来に向かって行ける子ども～
- 3 健全な心身、～全ての基盤となる強い体と心を持った子ども～
- 4 コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、～自分で考え自分の言葉で伝え、相手関係を築ける子ども～
- 5 当別が好き子ども、～当別に誇りを持ち、どこにいても当別を応援する子ども～

つけさせたい力とめざす児童生徒像

2019年度

一貫教育の重点

- 1 小中一貫した教科指導の充実（教科系統表の活用による効果的な授業、主体的・対話的で深い学びの実践）
- 2 新学習指導要領対応（小学校英語推進に対する中学校との連携）
- 3 学校間のさらなる協働（児童生徒指導、行事、いじめ撲滅等）
- 4 学校運営協議会の充実・活性化（児童生徒の生活習慣改善）

| 重点目標 | 【重点1】 確かな学力の育成（知） | 【重点2】 豊かな心の育成（徳） | 【重点3】 健やかな体の育成（体） |
|--|---|--|---|
| ① 9年を通じた教育課程の編成と実施 ② 9年を通じた学習規律の確立 ③ 特別な支援を必要とする子どもに対する支援 ④ 一貫教育推進講師と外国語指導助手（ALT）の継続配置 ⑤ 小学校の授業改善を目的とした北海道教育委員会指定事業（当別小学校共同指定）の成果波及 ⑥ 社会教育課と子ども未来課との連携による学習支援や読書活動の推進 | 「特別の教科 道徳」を中心とした心の教育 発達段階に応じた生徒指導 小中合同による ① 考え議論する道徳の実現に向けた授業改善 ② 発達段階を踏まえた生徒指導 ③ 不登校児童生徒の情報共有と指導 ④ 芸術鑑賞やボランティア活動 | 発達段階に応じた体力向上プランの作成・実施 一校一実践の取り組み ① 北海道医療大学や日本体育大学との連携による指導者研修や児童生徒指導の実施 ② フット物洗口の実施要領の改善 ③ 当別町食生活改善協議会や北海道当別高等学校との連携による食育の実施 ④ 学校運営協議会（CS）による保護者・地域との連携による児童生徒の生活習慣改善 | |
| 達成指標 | 全国学力・学習状況調査や各校査査結果全国平均以上 小中合同の多様な取り組み、いじめゼロ | 全国体力・運動能力、運動習慣等調査全種目全国平均以上 | |
| 重点目標 | 【重点1】 多彩な生涯学習プログラムの展開 ① 当別高校や北海道医療大学、日本体育大学との新たな学習プログラムの実施 ② 「当別町歴史・文化プロジェクト」による古文書解析の上級者養成、伊達邸別館などの歴史文化遺産の改修や資料整理 ③ 「ことぶき大学」など高齢者の生きがいづくりを目的とした多世代交流事業 ④ 「ふれあスポwithAMB」との連携による生涯学習の推進 | 【重点3】 学校を核とした地域力強化プラン事業による児童生徒、学校支援 ① 各学校への講師派遣事業 ② 外国語や部活動外部指導者などの講師発掘 ③ 放課後学習会や土曜学習会の拡充 | 【重点4】 家庭教育支援 ① 子ども未来課や福祉部との連携による子育て支援事業や多世代交流事業 ② リトリミック（音楽や体操）を取り入れた新たな子育て支援事業の実施 ③ 家庭教育ナビゲーターの養成と活用 |
| 達成指標 | 児童・生徒一人当たりの図書貸出し冊数10%増 生涯学習参加者数前年比10%増 | 講師派遣事業学校要望100%、学習会の参加児童生徒数前年比10%増 | 交流事業への参加者数前年比10%増 |
| 重点目標 | 【重点1】 家庭と一体となった子育て支援 ① 社会教育課や福祉部との連携による子育て支援 ② 保育料無償化の取り組みの拡大 ③ 各認定子ども園との連携による幼児教育の推進 | 【重点2】 幼児教育・保育の充実 ④ 就学に向けた幼保小間の接続プログラムの作成 ⑤ 子どもプレイハウスの学習やスポーツ活動の充実 ⑥ 児童相談所など各機関との連携強化 | 【重点3】 早期療育の推進 【重点4】 児童虐待の防止 |
| 達成指標 | 各事業の参加者数前年比10%増、幼児教育と義務教育の接続プログラム作成、児童虐待事案ゼロ | | |
| ① 義務教育学校開校準備 ●第5次当別町教育推進計画作成 ●教職員の長時間勤務改善 ●第2期当別町子ども子育て支援事業計画作成 | ① 義務教育学校開校準備 ●第5次当別町教育推進計画作成 ●教職員の長時間勤務改善 ●第2期当別町子ども子育て支援事業計画作成 | | |

点検・評価

- 教育委員会は、自己点検・評価を行い、事務事業評価を行い外部による点検・評価を受ける。
- 学校は、各校で自己点検・評価を行い、さらに学校運営協議会評価部会による評価を受ける。

学 校 経 営 計 画

当別町教育推進計画

～社会を背負う、世界にも通用する「知・徳・体」を備えた人～

- 1 基礎基本に基づく発見的学力、自ら学ぶ意欲 ～夢や希望を実現するための努力し、行動できる子ども～
- 2 豊かな人間性 ～自分を大切に人を大切に、未来に向かって行ける子ども～
- 3 健全な心身 ～全ての基盤となる強い体と心を持った子ども～
- 4 コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力 ～自分で考え自分の言葉で伝え、相手の意見に耳を傾け、人間関係を築ける子ども～
- 5 当別が好きな子ども ～当別に誇りを持ち、どこにいても当別を応援する子ども～

めざす人間像
つけさせたい力と
めざす児童生徒像

- 1 小中一貫した教科指導の充実（主体的・対話的で深い学び、教科系統表活用）
- 2 新学習指導要領対応（小学校の遅滞ない実行、中学校移行準備）
- 3 学校間のさらなる協働（学習規律、行事、いじめ対策等）
- 4 学校運営協議会の活性化（児童生徒の生活習慣改善）

一貫教育の重点

令和2年度

| 重点目標 | 【重点1】 確かな学力の育成（知） | 【重点2】 豊かな心の育成（徳） | 【重点3】 健やかな体の育成（体） |
|---|--|--|--|
| ① 一貫した教育課程の編成及び小学校新学習指導要領の完全実施 ② 小学校教科担任制の試行（一貫教育推進講師等の活用） ③ 授業改善 ④ 「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業実施 ⑤ 学習規律の徹底 ⑥ 小中学校授業改善推進チーム（チームJ）の成果活用と中学校への波及 ⑦ 一貫教育推進講師の配置（英語、算数・数学、各2名） ⑧ 小学校教科外語全授業ALT配置 ⑨ 小学校2名配置、865時間 中学1名配置 108時間 ⑩ 三課横断「学力向上対策」（放課後学習会、土曜教室、土曜学習会、ブレイクハウス） 全国学力・学習状況調査や各検査結果全国平均以上 ▶当別高等学校、ことぶき大学、食生活改善協議会等町内各団体との連携 ▶教職員の働き方改善 ▶ストレスチェックの実施 ●小中一貫教育の推進 ●一貫型義務教育学校開校準備 ●教職員の長時間勤務の改善 ●認定こども園との接続の在り方 ●当別町150年関係 | 「将来の夢や希望を実現するために必要な学力」を主体的・対話的で深い学びにより、全教育活動を通じて育成する。 1 一貫した教育課程の編成及び小学校新学習指導要領の完全実施 2 小学校教科担任制の試行（一貫教育推進講師等の活用） 3 授業改善 ① 「主体的・対話的で深い学び」の視点を取り入れた授業実施 ② 学習規律の徹底 ③ 小中学校授業改善推進チーム（チームJ）の成果活用と中学校への波及 ④ 一貫教育推進講師の配置（英語、算数・数学、各2名） ⑤ 小学校教科外語全授業ALT配置 ⑥ 小学校2名配置、865時間 中学1名配置 108時間 ⑦ 三課横断「学力向上対策」（放課後学習会、土曜教室、土曜学習会、ブレイクハウス） 全国学力・学習状況調査や各検査結果全国平均以上 ▶当別高等学校、ことぶき大学、食生活改善協議会等町内各団体との連携 ▶教職員の働き方改善 ▶ストレスチェックの実施 ●小中一貫教育の推進 ●一貫型義務教育学校開校準備 ●教職員の長時間勤務の改善 ●認定こども園との接続の在り方 ●当別町150年関係 | 「自分を大切に、人を大切に、ふるさとを大切に」を大切にする心」を育てて育成する。 1 教科道徳の円滑な実施 2 一貫した生徒指導の推進 ① 児童生徒の小・中学校間の共通理解 ② 小中合同事業の開催（児童会や生徒会共催、ボランティア活動、芸術鑑賞等） 3 読書活動推進（学校図書館の活用） 4 三課横断「心の育成事業」（通学合宿、文化道徳、ブレイクハウス、多世代交流事業、文化祭等） | 「自分を支える基本である健全な体」を全教育活動を通して育成する。 1 一貫した体力向上プラン 2 高等教育機関との連携 ① 北海道医療大学との連携（歯科検診、フッ化物洗口、がん予防教育、ピロリ菌検査） ② 日本体育大学との連携 3 安心安全な給食の提供 ① 当別高校と連携したメニュー開発 ② 地場産食材の活用 全国体力調査、体力総合得点全国平均以上 |
| 達成指標 学校支援 課題 | 全国学力・学習状況調査や各検査結果全国平均以上 ▶当別高等学校、ことぶき大学、食生活改善協議会等町内各団体との連携 ▶教職員の働き方改善 ▶ストレスチェックの実施 ●小中一貫教育の推進 ●一貫型義務教育学校開校準備 ●教職員の長時間勤務の改善 ●認定こども園との接続の在り方 ●当別町150年関係 | いじめゼロ | 全国体力調査、体力総合得点全国平均以上 |
| 重点目標 具体的取組 達成指標 課題 | 【重点1】 子育て支援の充実と幼児教育・保育の充実 1 就園援助事業の実施 2 保育士等就労支援事業の実施 3 幼保・小園接続プログラムの実施 4 三課横断「子育て支援事業」の実施 待機児童ゼロ ●保育士の安定的な確保 ●子育て環境の充実一就園援助の拡大、保育料無償化の拡大、保育料無償化の拡大（3歳児以下の第2子） ●接続プログラムの検証と改善 | 【重点2】 社会全体で子どもを守る体制の構築 1 児童虐待防止のための学校や各機関との連携 2 子どもブレイクハウスの充実（自主学習、運動習慣の定着） | 【重点2】 読書活動の推進 1 子どもの読書活動推進 2 司書による図書館及び学校図書館の活性化 |
| 重点目標 具体的取組 達成指標 課題 | 【重点1】 多彩な生涯学習プログラムの展開 1 地域や当別高校、北海道医療大学、日本体育大学、指定管理者との連携及び人材活用 2 歴史・文化プロジェクトによる古文書解析 3 多世代交流事業（高齢者の生きがいづくり）の推進 ことぶき大学各事業参加率 70%以上 ●各団体への若年層の参加促進 ●社会教育施設整備 ●図書館から図書館への移行に伴う整備 | 【重点2】 三課横断「児童生徒、学校及び家庭支援」 1 小学校、中学校の授業への講師派遣 2 土曜教室の充実（地域巡検の実施） 3 多世代交流事業（伝統文化の継承、子育て支援） 学校要望 100%、家庭学習習慣全国平均以上 | 【重点3】 読書活動の推進 1 子どもの読書活動推進 2 司書による図書館及び学校図書館の活性化 児童生徒一人当たりの貸出図書数の増 |

学校経営計画

点検・評価

- 教育委員会は、自己点検・評価を行い、事務事業評価を行い外部による点検・評価を受ける。
- 学校は、各校で自己点検・評価を行い、さらに学校運営協議会評価部会による評価を受ける。

3 令和元年度教育関係予算・決算並びに令和2年度教育関係予算

(単位：円)

| 款 | 項 | 目 | 令和元年度 | | | | | 令和2年度 | |
|-------|---------|----------------|-------------|-------------|-------------|-----------------|---------------|---------------|-------------|
| | | | 予 算 現 額 | | 支 出 済 額 | 翌 年 度 繰 越 明 許 費 | 不 用 額 | 予 算 現 額 | |
| | | | 予 算 額 | 繰 越 事 業 費 額 | | | | 予 算 額 | 繰 越 事 業 費 額 |
| 3 民生費 | 2 児童福祉費 | 1 児童福祉総務費 | 15,572,000 | 0 | 15,007,530 | 0 | 564,470 | 19,078,000 | 0 |
| | | 3 保育所費 | 329,179,000 | 0 | 320,741,747 | 0 | 8,437,253 | 341,530,000 | 0 |
| | | 4 子育て支援センター費 | 3,743,000 | 0 | 3,619,383 | 0 | 123,617 | 3,497,000 | 0 |
| | | 5 子ども発達支援センター費 | 19,779,000 | 0 | 18,832,587 | 0 | 946,413 | 20,294,000 | 0 |
| | | 6 子どもプレイハウス費 | 17,921,000 | 0 | 17,557,176 | 0 | 363,824 | 20,529,000 | 0 |
| | | 小 計 | 386,194,000 | 0 | 375,758,423 | 0 | 10,435,577 | 404,928,000 | 0 |
| | | 合 計 | 386,194,000 | 0 | 375,758,423 | 0 | 10,435,577 | 404,928,000 | 0 |
| 9 教育費 | 1 教育総務費 | 1 教育委員会費 | 1,745,000 | 0 | 1,725,942 | 0 | 19,058 | 1,747,000 | 0 |
| | | 2 事務局費 | 9,363,000 | 0 | 9,007,289 | 0 | 355,711 | 4,544,000 | 0 |
| | | 3 教育振興費 | 42,383,000 | 0 | 40,972,865 | 0 | 1,410,135 | 45,493,000 | 0 |
| | | 4 スクールバス運営費 | 51,400,000 | 0 | 44,758,596 | 0 | 6,641,404 | 52,582,000 | 0 |
| | | 5 学校給食費 | 100,711,000 | 0 | 97,913,844 | 0 | 2,797,156 | 89,941,000 | 0 |
| | | 6 施設費 | 206,750,000 | 0 | 196,180,818 | 0 | 10,569,182 | 864,664,000 | 0 |
| | | 小 計 | 412,352,000 | 0 | 390,559,354 | 0 | 21,792,646 | 1,058,971,000 | 0 |
| | 2 小学校費 | 1 学校管理費 | 35,300,000 | 0 | 32,179,298 | 0 | 3,120,702 | 35,379,000 | 0 |
| | | 2 教育振興費 | 27,640,000 | 0 | 23,858,044 | 0 | 3,781,956 | 33,739,000 | 0 |
| | | 3 施設費 | 39,025,000 | 0 | 38,731,464 | 0 | 293,536 | 5,032,000 | 0 |
| | | 小 計 | 101,965,000 | 0 | 94,768,806 | 0 | 7,196,194 | 74,150,000 | 0 |
| | 3 中学校費 | 1 学校管理費 | 36,253,000 | 0 | 33,080,253 | 0 | 3,172,747 | 36,031,000 | 0 |
| | | 2 教育振興費 | 22,873,000 | 0 | 19,886,046 | 0 | 2,986,954 | 21,552,000 | 0 |
| | | 3 施設費 | 4,863,000 | 0 | 4,600,838 | 0 | 262,162 | 18,211,000 | 0 |
| | | 小 計 | 63,989,000 | 0 | 57,567,137 | 0 | 6,421,863 | 75,794,000 | 0 |
| | 4 社会教育費 | 1 社会教育総務費 | 9,508,000 | 0 | 8,954,831 | 0 | 553,169 | 9,526,000 | 0 |
| | | 2 社会教育施設費 | 37,019,000 | 0 | 36,751,075 | 0 | 267,925 | 42,899,000 | 0 |
| | | 3 文化財保護費 | 6,588,000 | 0 | 6,524,471 | 0 | 63,529 | 3,911,000 | 0 |
| | | 4 指導センター費 | 2,727,000 | 0 | 2,645,920 | 0 | 81,080 | 2,778,000 | 0 |
| | | 5 青少年費 | 822,000 | 0 | 812,005 | 0 | 9,995 | 822,000 | 0 |
| | | 小 計 | 56,664,000 | 0 | 55,688,302 | 0 | 975,698 | 59,936,000 | 0 |
| | 5 保健体育費 | 1 保健体育総務費 | 48,210,000 | 0 | 47,895,902 | 0 | 314,098 | 48,467,000 | 0 |
| | | 2 プール運営費 | 3,927,000 | 0 | 3,855,918 | 0 | 71,082 | 2,588,000 | 0 |
| | | 3 総合体育館費 | 12,113,000 | 0 | 11,977,726 | 0 | 135,274 | 20,924,000 | 0 |
| | | 小 計 | 64,250,000 | 0 | 63,729,546 | 0 | 520,454 | 71,979,000 | 0 |
| | 合 計 | 699,220,000 | 0 | 662,313,145 | 0 | 36,906,855 | 1,340,830,000 | 0 | |